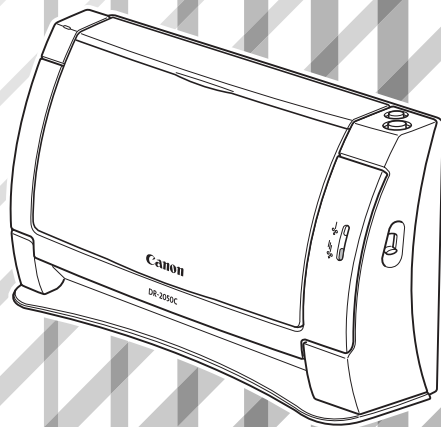


Canon

ドキュメントスキャナ DR-2050C ユーザーズガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機およびスキャナ等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

■ ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

- ・ 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、または公共団体や民間団体発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となり、処罰の対象となります。
- ・ 書籍、絵画、版画、地図、図面などの著作物の複製は、自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられていますのでご注意ください。

■ 商標および登録商標について

- ・ Microsoft Windows® は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標です。
- ・ Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- ・ ISIS は、Captive Software Corporation. の米国における商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品に適合しています。

ソフトウェア製品のパッケージ開封前に必ずお読みください。

このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

弊社では、弊社のハードウェア製品と同梱のソフトウェア製品につきましては、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書を設けさせていただいており、お客様が下記契約書にご同意いただいた場合のみソフトウェア製品をご使用させていただいております。お手数ではございますが、本ソフトウェア製品のパッケージの開封前に下記契約書を十分にお読みください。下記契約にご同意いただけない場合には、本ソフトウェア製品を未開封のまま速やかに他の未使用の同梱製品とともにご購入いただいた販売店にご返却ください。この場合、お支払い済の代金をお返し致します。

なお、本ソフトウェア製品のパッケージを開封された場合には、お客様が下記契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キャノン電子株式会社（以下キャノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供するソフトウェア製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾プログラム」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾プログラム」およびその複製物に関する権利はその内容によりキャノンまたはキャノンのライセンサーに帰属します。

1. 使用許諾

- (1) お客様は、機械読取形態の「許諾プログラム」を一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾プログラム」を使用したり、また「許諾プログラム」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキャノンからその使用権を取得する必要があります。
- (2) お客様は、「許諾プログラム」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。
- (3) お客様は、本契約に特に定められている場合を除き、「許諾プログラム」の全部または一部を複製、翻訳、他のプログラム言語への変換、修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また、第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2. 「許諾プログラム」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムを1コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾プログラム」中のソフトウェア・プログラムをお客様がご使用のコンピュータのハードディスクなどの記憶装置1台のみにコピーすることができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾プログラム」を複製できません。お客様は、「許諾プログラム」の複製物に含まれる著作権表示を改変あるいは除去してはなりません。

3. 保証

キャノンは、お客様が「許諾プログラム」を購入した日から90日の間、通常の使用状態にて、「許諾プログラム」が格納されている「プログラムディスク」に物理的な欠陥がないことを保証します。この保証は、「プログラムディスク」の欠陥が「許諾プログラム」の事故あるいは誤用による場合には適用しないものとします。この保証は、「許諾プログラム」に関するキャノンの保証のすべてであり、お客様ご自身に対してのみ保証いたします。

4. サポートおよびアップデート

キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」のメンテナンスおよびその使用についての援助を行わないものとします。「許諾プログラム」のアップデート、修理、およびサポートも行いません。

5. 保証の否認・免責

- (1) 第3項に定める場合を除き、キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾プログラム」にバグがないこと、その他「許諾プログラム」に関していかなる保証もいたしません。
- (2) キャノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾プログラム」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

6. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾プログラム」を直接または間接に輸出してはなりません。

7. 契約期間

- (1) 本契約は、お客様が「許諾プログラム」のパッケージを開封した時点で発効します。
- (2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。
- (3) お客様は、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去することにより本契約を終了させることができます。
- (4) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。
- (5) 本契約は、上記(2)、(3)または(4)により終了するまで有効に存続します。上記(2)、(3)または(4)により本契約が終了した場合、キヤノンおよび販売店は、「許諾プログラム」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾プログラム」の代金の返還をキヤノンおよび販売店に請求できません。
- (6) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾プログラム」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

8. 一般条項

- (1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

9. U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS NOTICE:

The SOFTWARE is provided with RESTRICTED RIGHTS. Use, duplication or disclosure is subject to restrictions as set forth in either subparagraph (c) (1) (ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software Clause at DFARs 252.227-7013 or subparagraph (c) (1) and (2) of the Commercial Computer Software Restricted Rights Clause at FAR 52.227-19, as applicable.

10. 完全合意

本契約は「許諾プログラム」の使用に関して当事者間の合意のすべてを構成するものであり、当該事項に関する書面または口頭によるすべての事前および同時発生を理解や合意に優先します。本契約のいかなる修正や変更も書面によってなされ、正式に権限を授与されたキヤノンの代表者によってかかる書面に署名された場合のみ発効するものとします。

以上

キヤノン電子株式会社

はじめに

このたびはキヤノン DR-2050C スキャナをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前に本書をよくお読みいただくとともに、お読みになったあとは必ず保管してください。

マニュアルの構成について

DR-2050C スキャナのマニュアルは、「簡単スタートガイド」、「ユーザーズガイド（本書）」の同梱マニュアルと、「CapturePerfect 操作ガイド」、「オンラインヘルプ」の電子マニュアルの構成になっています。

同梱品の確認からソフトウェアのインストール、コンピュータとの接続など、スキャナのセットアップについては「簡単スタートガイド」、スキャナの準備からスキャンなど、スキャナの取り扱いについては「ユーザーズガイド」を参照してください。

DR-2050C に同梱されているマニュアルは以下の構成になっています。
DR-2050C をお使いになる前に必ずお読みください。

簡単スタートガイド

DR-2050C を箱から取り出してからスキャンを行なうまでのセットアップの手順について書かれています。

STEP.1 同梱品の確認

STEP.2 保護部材の取り外し～ローラの取り付け

STEP.3 ソフトウェアのインストール

STEP.4 コンピュータとの接続～電源のオン（スキャナの認識）

ユーザーズガイド（本書）

第1章 お使いになる前に（P.5～）

DR-2050C をお使いになる前に守っていただきたい注意事項、DR-2050C についての特長、各部の名称、動作環境、セットアップディスクの内容で構成されています。

第2章 スキャナの使用法（P.17～）

原稿について、DR-2050C の取り扱い、スキャン方法、こんなときは（スキャンを行なう際のヒント）、クイックガイド（ソフトウェアを設定する際の簡易ガイド）、で構成されています。

第3章 付録（P.53～）

日常のメンテナンス、困ったときは（トラブルシューティング）、DR-2050C の仕様、サポート情報で構成されています。

本書内の表記について

ここでは、本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P.12)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。



メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

はじめに	1
マニュアルの構成について	1
本書内の表記について	2
第1章 お使いになる前に	5
1. 安全にお使いいただくために	6
設置場所について	6
ACアダプタについて	7
スキャナの移動	7
日常の取り扱いについて	8
廃棄について	9
2. DR-2050Cの特長	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 動作環境の確認	14
5. セットアップディスクについて	16
第2章 スキャナの使用法	17
1. 原稿について	18
2. スキャナの準備	19
給紙トレイの準備	19
原稿ガイドアダプタの使用	20
給紙補助プレートの使用	20
3. 原稿のセット	21
分離給紙の手順	21
非分離給紙の手順	24
半折り原稿のセット	25
4. スキャン方法	26
CapturePerfectによるスキャン	26
ジョブ機能によるスキャン	32
イベント機能の設定	35
5. 紙詰まりの処理	39
6. こんなときは	41
7. ソフトウェアの設定項目	45
ISIS ドライバの設定項目	46
TWAIN ドライバの設定項目	48
ジョブ登録ツールの設定項目	50
第3章 付録	53
1. 日常のお手入れ	54
本体の清掃	54
本体内部の清掃	54
読み取りガラスとローラの清掃	55
金属ローラの清掃	57

2. ローラの取り外し / 取り付け	58
ローラの交換時期	58
カウンタのリセット	59
フィードローラの取り外し / 取り付け	61
リタードローラの取り外し / 取り付け	64
3. 困ったときは	67
4. ソフトウェアのアンインストール	74
ISIS/TWAIN ドライバ / ジョブ登録ツールのアンインストール	76
CapturePerfect のアンインストール	77
5. 仕様	79
仕様	79
交換部品	80
外形寸法図	81
保証とアフターサービス	82
修理受付窓口	83
サービス&サポートのご案内	84
保守サービスのご案内	85
アドビ製品について	86
索引	88

第 1 章 お使いになる前に

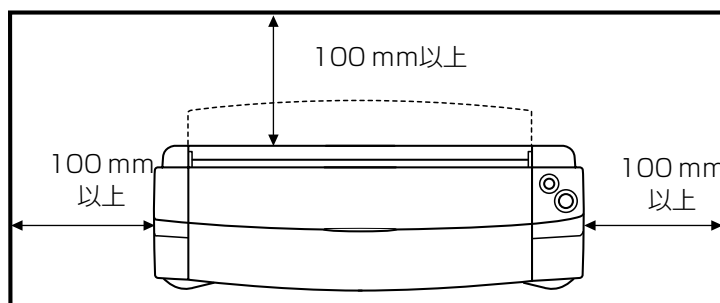
1. 安全にお使いいただくために	6
設置場所について	6
AC アダプタについて	7
スキャナの移動	7
日常の取り扱いについて	8
廃棄について	9
2. DR-2050C の特長	10
3. 各部の名称と機能	12
4. 動作環境の確認	14
5. セットアップディスクについて	16

1. 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。



- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。
- 本機前方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

室温 10℃—32.5℃
湿度 20%—80%RH

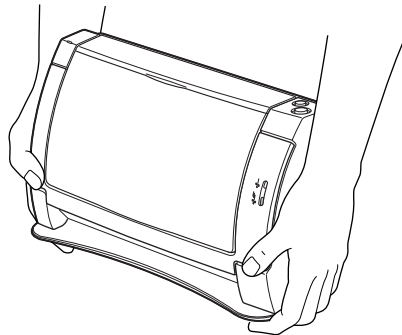
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気を発生する機器の近くは避けてください。

ACアダプタについて

- 電源は必ず100Vのコンセントからとってください。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- ACアダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- ACアダプタおよび電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。
- 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。また、付属のACアダプタを他の製品に使用しないでください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スキャナの移動

- スキャナを移動する場合は、本体を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。スキャナ本体の質量は約2.5kgです。



- スキャナを移動する場合は、インターフェースケーブルやACアダプタを、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷することがあります。

日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の電源コード、ACアダプタ以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- ACアダプタの分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 本機の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間で使用にならないときは、安全のため、必ずACアダプタのプラグを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄について

- 本機を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

2. DR-2050C の特長

DR-2050C の主な特長は以下のとおりです。

- **コンパクトサイズ**
幅 298 mm × 高さ 197 mm × 奥行き 100 mm の非常にコンパクトなサイズです。また、縦置きタイプなので設置の場所をとりません。
- **高速原稿給紙**
小型ながら名刺サイズから A4 までの原稿を最大 20 枚 / 分で読み取ります。
(読取条件：白黒 / A4 縦 / 両面 / 200dpi)
- **USB2.0 インタフェース**
コンピュータとの接続は、Hi-Speed USB2.0 で行います。
- **カラー / グレースケール対応**
原稿を 24 ビットカラーや 256 階調グレースケールで読み取ることができます。
- **多様な読み取りモードをサポート**
原稿の種類によって以下のような様々な読み取りモードに対応しています。
 - 片面または両面モード
 - 連続または手差し給紙
- **自動原稿サイズ検知**
読み取った原稿のサイズは自動的に検知され、定型外の原稿も原稿の周りの余分なスペースは省かれて保存されます。
- **半折りスキャン**
半折りにした原稿をそのままセットし、両面スキャンしてできた 2 枚の画像を 1 枚の画像に合成します。
- **斜行補正**
原稿が斜めに給紙された場合、スキャンされた画像をまっすぐに補正します。
- **テキストエンハンスメントモード**
下地が濃い原稿や薄い鉛筆書きの原稿も文字部分をはっきりと読み取るアドバンスドテキストエンハンスメントモードを備えています。
* 原稿によっては有効に機能しない場合があります。
- **ドロップアウトカラー**
原稿の中の特定の色を読み取らないようにする (ドロップアウト) 機能を備えています。
- **自動白紙スキップ機能**
原稿が片面であるか両面であるかを気にせずにスキャンを行える、自動白紙スキップ機能を備えています。
- **プレスキャン機能**
プレスキャンした画像をモニターしながら濃度・コントラストを調整し、その後アプリケーションソフトウェアに画像が渡されるプレスキャン機能を備えています。原稿を再度スキャンする必要はありません。

- **ジョブ機能**
原稿を給紙口にセットし、スキャンボタンによりスキャンが開始されるジョブ機能を備えています。
- **自動スタート**
原稿を給紙口にセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンが開始される自動スタート機能を備えています。
- **感圧紙対応**
感圧紙もスキャンすることができます。
- **省電力モード**
スキャン実行時以外は、省電力モードに入る省エネ設計です。

**メモ**

記載されている機能によっては、お使いのアプリケーションソフトウェアで使用できない場合があります。

3. 各部の名称と機能

ここでは各部の名称と機能について説明します。本機を接続する前にご確認ください。

■ 前面・右側面

上カバー

原稿をセットするときに開きます。
(→ P.19)

電源ランプ

スキャナの電源がオンになると点灯します。

給紙トレイ

原稿をセットするときに開きます。
(→ P.19)

排紙口

原稿が排紙されます。

ストップボタン

給紙モードが「パネル」、[自動] のときにスキャンを中止します。

スキャンボタン

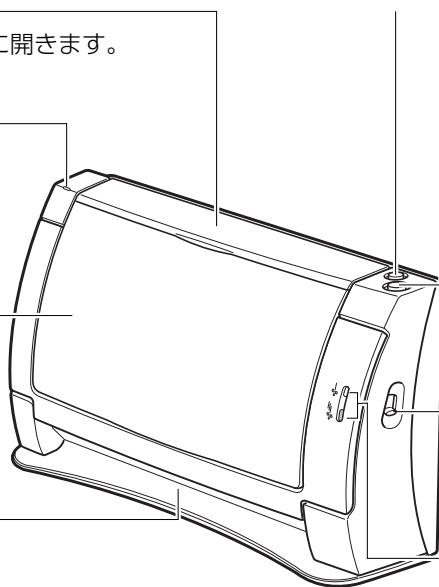
ジョブ機能および給紙モードが「パネル」のときにスキャンを開始します。

給紙切替レバー

原稿の給紙方法を設定します。複数枚の原稿を1枚ずつ分離させて給紙する場合は下側にします(分離給紙)。
(→ P.21)
複数枚綴りの伝票などを分離しないで給紙する場合は上側にします(非分離給紙)。
(→ P.24)

給紙インジケータ

給紙切替レバーの位置を示します。



■ 前面（上カバーと給紙トレイを開いた状態）

給紙補助プレート

原稿が手前に倒れる場合に引き出して使用します。
(→ P.20)

前ユニット

紙詰まりの処理や清掃の際に開きます。(→ P.39、55)

OPEN つまみ

前ユニットを開きます。

原稿ガイドアダプタ

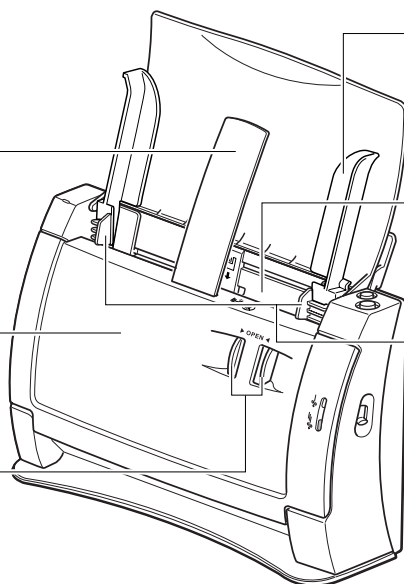
原稿が斜行する場合に原稿ガイドに差して使用します。
(→ P.20)

給紙口

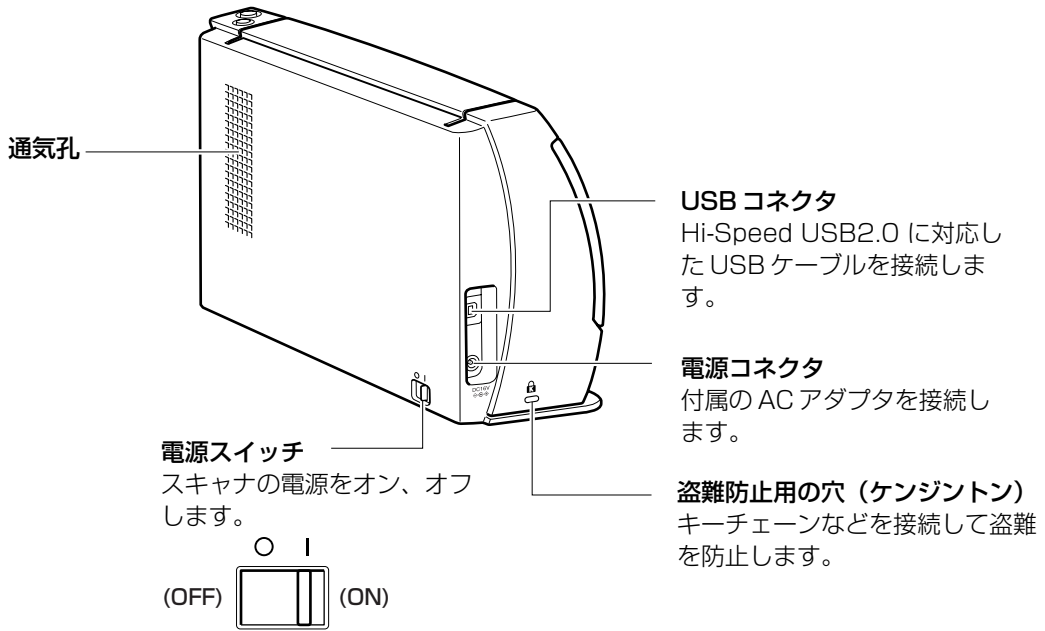
原稿をセットします。

原稿ガイド

原稿の幅に合わせて調整します。(→ P.22、24)

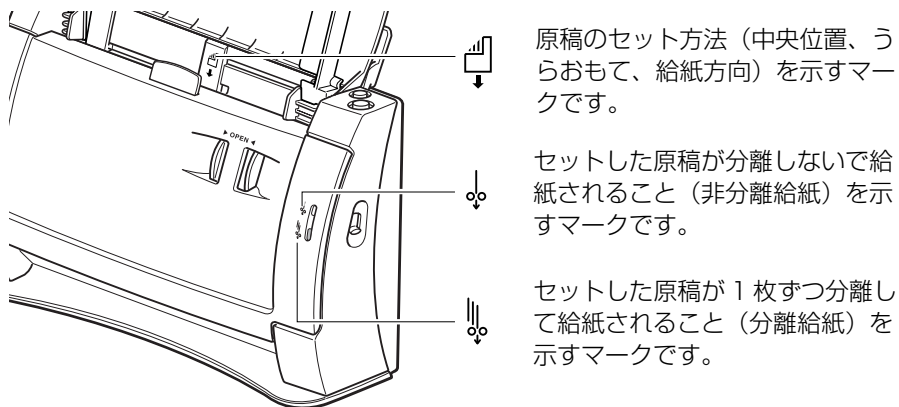


■ 背面・左側面



! 注意
通気孔をふさがないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■ マークについて



4. 動作環境の確認

DR-2050C を使用するには、コンピュータが次のシステム要件を満たしている必要があります。

- 次の仕様を満たすパーソナルコンピュータ。
 - ・ CPU : Celeron 733Hz 以上
 - ・ メモリ : 256MB 以上
 - ・ ハードディスク : 400MB 以上の空き容量
 - ・ CD-ROM ドライブ
 - ・ Hi-Speed USB2.0 インタフェース
 - ・ モニタ : 解像度 1024 × 768(XGA)以上を推奨
- Hi-Speed USB2.0 インタフェース は、コンピュータ標準搭載の Hi-Speed USB2.0 インタフェースまたは、本機が推奨する以下の USB2.0 インタフェースカードをお使いください。

Adaptec 社製 USB2.0 インタフェースカード (PCI バス用)

- ・ USB2connect2000LP (AUA-2000)
- ・ USB2connect3100 (AUA-3100LP)
- ・ USB2connect5100 (AUA-5100)

Adaptec 社製 USB2.0 インタフェースカード (Card bus 用)

- ・ USB2connect for Notebooks (AUA-1420)

- 次のオペレーティングシステムのいずれかが正常に動作すること。
 - ・ Microsoft Windows 98 SE
 - ・ Microsoft Windows Me
 - ・ Microsoft Windows 2000 Professional SP3 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Professional SP1 以上
 - ・ Microsoft Windows XP Home Edition SP1 以上
- 上記のオペレーティングシステムで正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。



お願い

- USB2.0 ドライバはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピュータに標準装備された USB インタフェースのすべてにおいて、動作を保証するものではありません。コンピュータに標準装備された USB インタフェースで正常に動作しないようなときは、推奨の Hi-Speed USB2.0 インタフェースカードをお使いください。
- USB ケーブルは、同梱品または Hi-Speed USB2.0 対応のケーブルをお使いください。

- CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピュータの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピュータの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

5. セットアップディスクについて

DR-2050C セットアップディスクには、以下のソフトウェアが収納されています。

- **DR-2050C Driver**
DR-2050C を使用するためのスキャナドライバです。
- **CapturePerfect3.0**
キヤノンドキュメントスキャナ用に開発された、ISIS 互換アプリケーションです。
- **e.Typist エントリー**
メディアドライブ株式会社製の日本語および英語 OCR ソフトウェアです。
- **やさしく名刺ファイリングエントリー**
メディアドライブ株式会社製の日本語 OCR 機能付き名刺管理ソフトウェアです。



メモ

- DR-2050C セットアップディスクは、以下の構造になっています。ソフトウェアのインストールは、「おまかせインストール」または「選んでインストール」から実行します。

メニュー画面



マニュアルを読む



* スキャナに同梱されている「簡単スタートガイド」、「ユーザーズガイド」のPDFマニュアルです。

おまかせインストール



* 表示されているすべてのソフトウェアがインストールされます。

選んでインストール



* チェックマークを付けたソフトウェアがインストールされます。

- 「e.Typist エントリー」、「やさしく名刺ファイリングエントリー」についての取り扱いについては、メディアドライブ株式会社にお問い合わせください。

第2章 スキャナの使用法

1. 原稿について	18
2. スキャナの準備	19
給紙トレイの準備	19
原稿ガイドアダプタの使用	20
給紙補助プレートの使用	20
3. 原稿のセット	21
分離給紙の手順	21
非分離給紙の手順	24
半折り原稿のセット	25
4. スキャン方法	26
CapturePerfect によるスキャン	26
ジョブ機能によるスキャン	32
イベント機能の設定	35
5. 紙詰まりの処理	39
6. こんなときは	41
7. ソフトウェアの設定項目	45
ISIS ドライバの設定項目	46
TWAIN ドライバの設定項目	48
ジョブ登録ツールの設定項目	50

1. 原稿について

本スキャナは、名刺、小切手などの大きさから A4 サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることのできる原稿の大きさは以下のとおりです。

分離給紙（連続給紙）の場合（→ P.21 「分離給紙の手順」）

幅 : 55 ~ 216 mm
長さ : 70 ~ 297 mm
厚さ : 52 ~ 128 g/m² (0.06 ~ 0.15 mm)

非分離給紙（1 枚給紙）の場合（→ P.24 「非分離給紙の手順」）

幅 : 55 ~ 216 mm
長さ : 70 ~ 355 mm
厚さ : 42 ~ 157 g/m² (0.05 ~ 0.02 mm)



お願い

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから行ってください。



しわや折り目が入っている。



カーボン紙。



カール（巻き付け）がある。



表面がコーティングされている。



破れている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



クリップやステイプルの針が付いている。



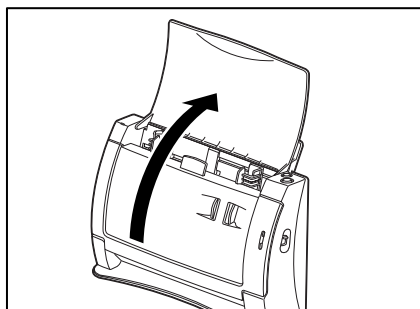
四角いとじ穴がある。

2. スキャナの準備

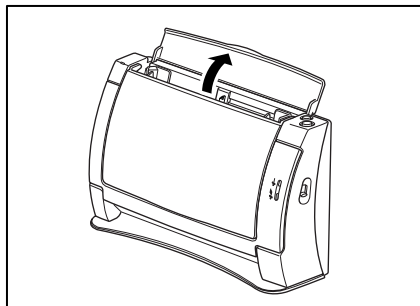
原稿のサイズや種類に応じて給紙トレイを準備します。

給紙トレイの準備

給紙トレイを開きます。

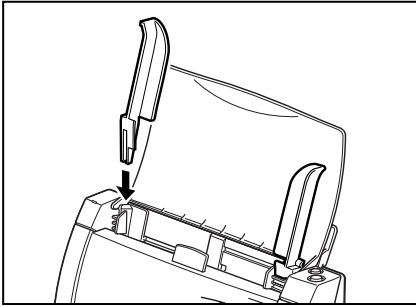


短い原稿のときは、上カバーのみを開きます。



原稿ガイドアダプタの使用

スキャン時に原稿が斜行する場合や、半折り原稿をセットする場合（→P.25）に、原稿ガイドアダプタを原稿ガイドに取り付けて、原稿の斜行を抑えます。原稿ガイドアダプタは図の向きに取り付けます。原稿ガイドアダプタの二股に分かれている部分の間に、原稿ガイドを奥までしっかり差し込んでください。



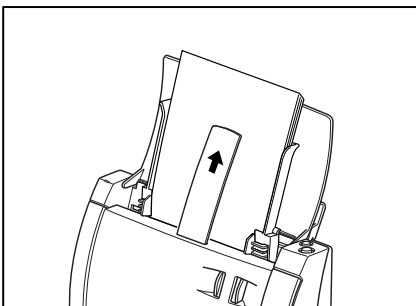
メモ

原稿ガイドアダプタを取り付けても原稿の斜行が改善されないときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定で斜行補正をオンにしてください。（→P.45）

給紙補助プレートの使用

以下のようなときは、原稿ガイドアダプタを取り付け、原稿をセットしてから給紙補助プレートを引き出してください。

- 原稿が手前に倒れるようなとき
- 紙厚の薄い原稿など、原稿が途中で曲り手前に出てくるようなとき



3. 原稿のセット

原稿の給紙方法として、セットされた原稿の束を1枚ずつ分離しながら連続給紙する「分離給紙」と、原稿を1枚ずつ手差しで給紙および、複数枚綴りの伝票を綴じたまま読み取ることのできる「非分離給紙」があります。給紙方法は、給紙切替レバーの上下により切り替えます。



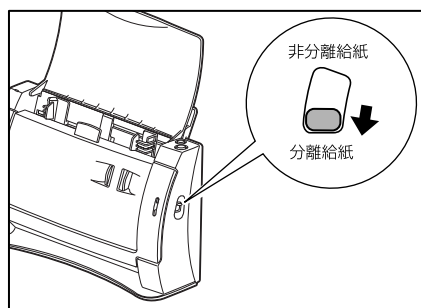
お願い

- 原稿をセットする前に、クリップやステイブルの針などが紛れ込んでいないか必ず確認してください。万一これらが紛れ込んでいると、大事な原稿が破れたり、紙詰まりを起こしたり、あるいは本機の故障の原因になります。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源プラグを本体から抜いて機械を停止してください。
- 原稿の先端がカールしていると原稿が折れたり紙詰まりの原因になります。カールが大きい場合にはカールを矯正してからスキャナにセットしてください。

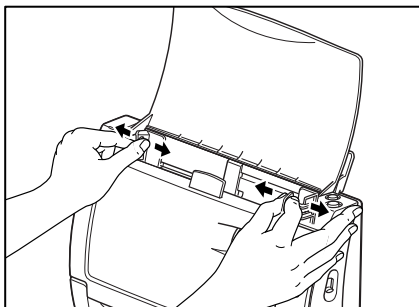
分離給紙の手順



給紙切替レバーを下側（分離給紙）にします。

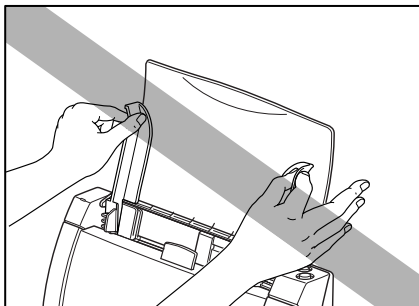


- 2** 原稿ガイドを読み取る原稿の幅に合わせます。

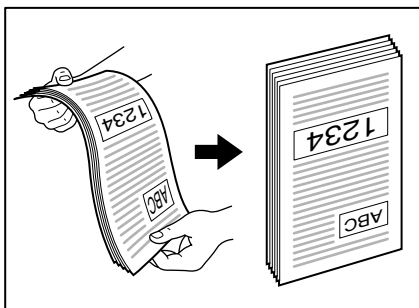


お願い

原稿ガイドアダプタを取り付けているときは、原稿ガイドアダプタの先端は持たないでください。原稿ガイドアダプタの先端を持って動かすと、原稿トレイの破損の原因になります。



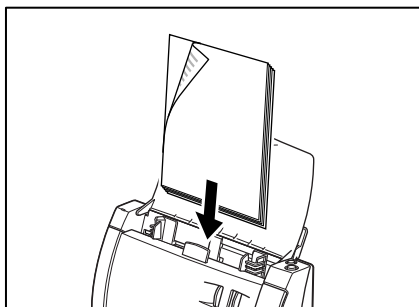
- 3** 読み取る原稿の束をさばき、図のように先頭ページの上辺が一番低くなるようにずらしておきます。(原稿は上辺を下にしてセットします。)



注意

原稿をセットするときは慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

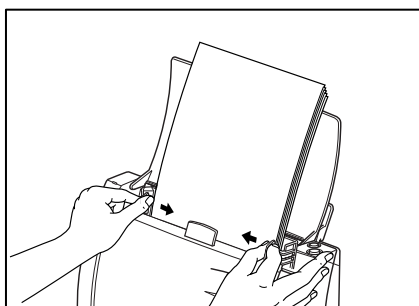
- 4 ▶ 原稿のうら面を手前に向け、原稿の上辺を下にしてセットします。



お願い

原稿の積載枚数は、カールしていない原稿で最大 50 枚です。ただし、原稿が正しく給紙されない場合は、原稿の枚数を減らしてください。

- 5 ▶ 原稿ガイドを原稿の幅に合わせて調整します。



メモ

スキャンを始める前に、原稿が正しくセットされていることを確認してください。原稿が丸まっていたり折れている状態でスキャンを行うと原稿が破損することがあります。

- 6 ▶ アプリケーションソフトウェアで、スキャンを開始します。

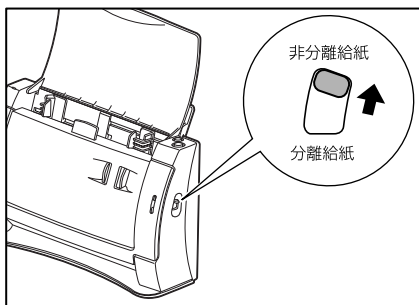


お願い

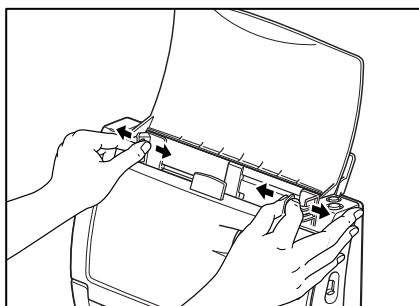
- 読み取り中に、システムエラーまたは紙詰まりによって給紙が停止した場合は、処理をしたあと、給紙している原稿の最後のページが正しく記録されていることを確認してから読み込み作業を続けてください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、機械の損傷を防ぐために給紙トレイと上カバーを閉じてください。

非分離給紙の手順

- 1 給紙切替レバーを上側（非分離給紙）にします。

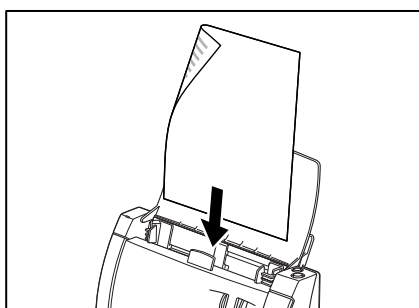


- 2 原稿ガイドを読み取る原稿の幅に合わせて調整します。



- 3 アプリケーションソフトウェアで、スキャンを開始します。

- 4 原稿のうら面を手前に向け、原稿の上辺を下にしてセットします。
原稿が検知されると読み取りが行われます。



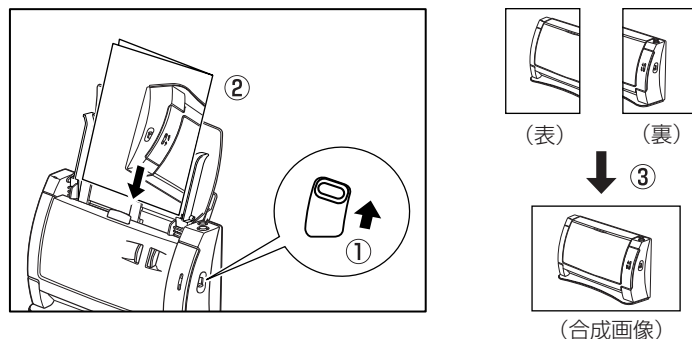


お願い

- 複数枚綴りの伝票などをセットするときは、綴じてある側を下にしてセットしてください。
- 読み取りが終了し、スキャナを使用しないときは、機械の損傷を防ぐために給紙トレイや上カバーを閉じてください。

半折り原稿のセット

給紙口にセットすることのできないA4サイズの原稿より大きい原稿（最大A3サイズ）を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を1つの画像に合成します。



メモ

- 半折り原稿をスキャンする場合は、給紙切替レバーを上側（上図①）にし、原稿の斜行を抑えるために原稿ガイドアダプタを取り付けます。（→ P.20）
- 半折りスキャンを行なうときは、ISIS/TWAIN ドライバの読み取り面の設定を【半折り】にして行ないます。（→ P.46 「ISIS ドライバ 設定項目⑦」、P.48 「TWAIN ドライバ 設定項目⑦」）
- 半折り原稿は、セットする前に折り目をしっかり付けてください。原稿の折り目によっては紙詰まりや画像のズレの原因になります。
- 半折り原稿をセットするときは、折り目を右側（上図②）にしてスキャナにセットします。半折り原稿の手前になる面の画像が、合成された画像の右半分になります。（上図③）
- 合成される画像は最大A3サイズの画像です。
原稿の折り目や原稿をセットした位置のズレなどにより、画像を合成したときのつなぎ目は残ります。

4. スキャン方法

DR-2050C のスキャン方法には、アプリケーションを起動してスキャンを行なう他に、スキャンボタンを押すだけでスキャンを行なうことができるジョブ機能があります。

本項では、同梱されている「CaptuerPerfect」と「ジョブ機能」の概略とそれぞれのスキャンの手順について説明します。

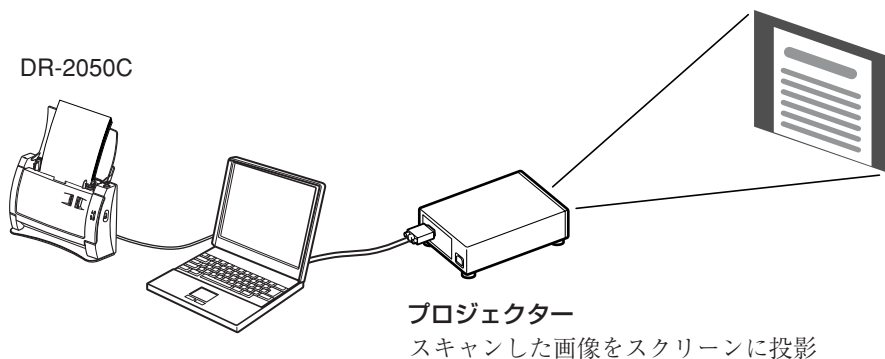
なお、各アプリケーションおよびドライバのインストールについては「簡単スタートガイド」を参照してください。

CapturePerfect によるスキャン

CapturePerfect は、キヤノンドキュメントスキャナ用に開発された ISIS 互換アプリケーションソフトウェアです。

CaptuerPerfect には、以下のスキャン方法があり、スキャンメニューからスキャン方法を選択してスキャンを行ないます。

- **スキャン 1 ページ**
スキャン前に読み取り条件を設定し、原稿を 1 枚スキャンして終了します。
- **スキャンバッチファイル**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。
- **スキャンバッチプリント**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。
- **スキャンバッチメール**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。
- **スキャンバッチプレゼンモード**
プレゼンテーションの会場など、大型ディスプレイやプロジェクターが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CaptuerPerfect を全画面表示に切り替えてスキャンを行ない、スキャンした画像をディスプレイに全画面表示します。



● スキャンジョブ

読み取り条件とスキャン方法（スキャンバッチファイル、スキャンバッチプリント、スキャンバッチメール）をあらかじめジョブに登録し、スキャンジョブを行なう時には、ツールバーから登録したジョブを選択し、スキャンジョブを実行するスキャン方法です。ジョブは最大99個登録できます。



メモ

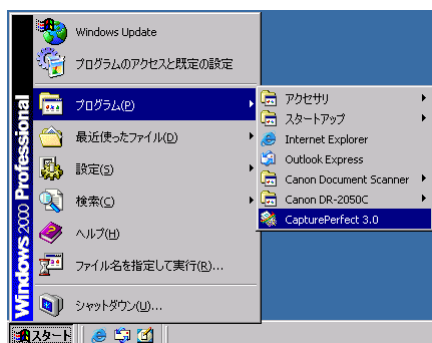
CapturePerfectの詳細については、CapturePerfect操作ガイドおよび、CapturePerfectのヘルプに記載されています。CapturePerfectをお使いになる前にCapturePerfect操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。

CapturePerfectの操作手順

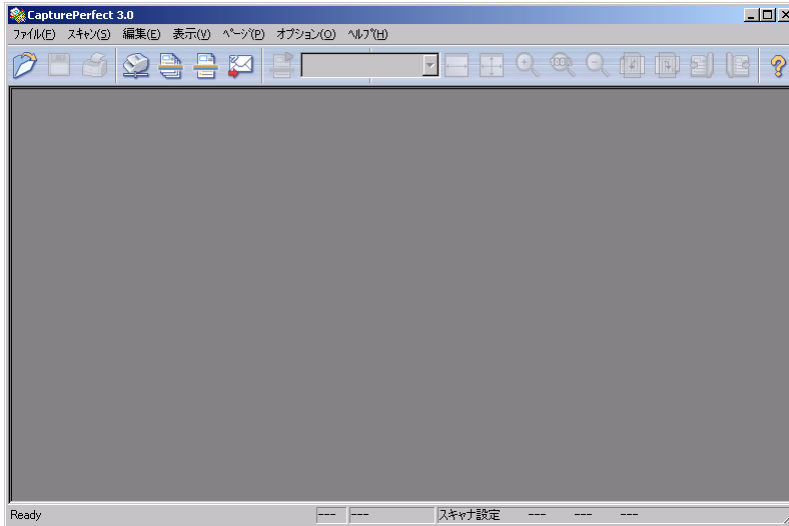
ここでは、CapturePerfectの起動からスキャナの実機までの手順と、「スキャンバッチファイル」によるスキャンまでの手順について説明します。詳細については、CapturePerfect操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。



1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-[CapturePerfect]をクリックします。

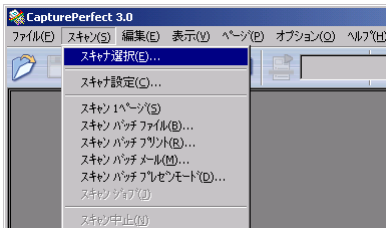


CapturePerfectが起動します。

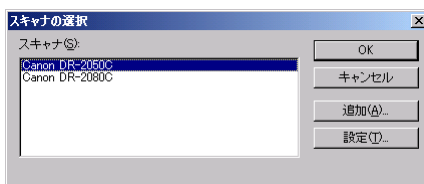


2 使用するスキャナとしてDR-2050Cを以下の手順で選択します。

1. [スキャン]メニューから[スキャナ選択]をクリックします。



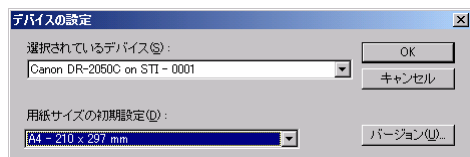
2. [Canon DR-2050C]を選択し、[OK]をクリックします。



メモ

[Canon DR-2050C]が表示されないときは、ISIS/TWAINドライバのインストールをやり直してください。(→簡単スタートガイド「Step3. ソフトウェアのインストール」)

3. 用紙サイズの初期サイズを設定します。



メモ

このダイアログボックスは、[Canon DR-2050C]を初めて選択して[OK]をクリックした時、または[設定]をクリックすると表示されます。



[スキャン] メニューから[スキャナ設定]をクリックします。



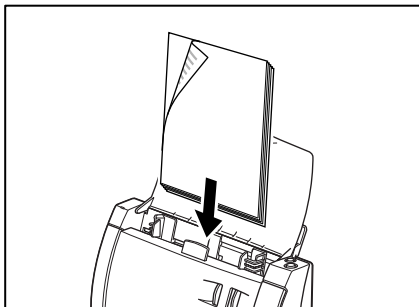
ISIS ドライバの設定ダイアログボックスが開きます。



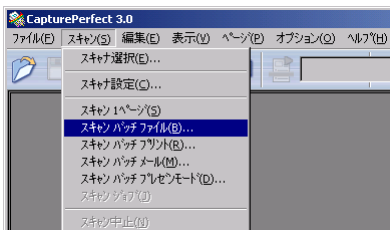
読み取り条件を設定します。

読み取り条件の設定については「ISIS ドライバの設定項目」(→ P.46) および、ISIS/TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

5 原稿をセットします。(→P.21 「原稿のセット」)



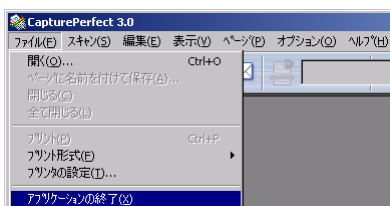
6 [スキャン] メニューから [スキャンバッチファイル] を選択します。
ここでは、スキャンバッチファイルの操作手順について説明します。他のスキャン方法については、CapturePerfect 操作ガイドまたは、ヘルプを参照してください。



スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスが開きます。



- 7 ▶ 保存するファイル名、ファイル形式を指定し、[保存] をクリックしてスキャンを開始します。
スキャンバッチファイル設定ダイアログボックスの設定については、「CapturePerfect 操作ガイド」または、ヘルプを参照してください。
- 8 ▶ セットした原稿がなくなったらスキャンが中断し、継続ダイアログボックスが表示されます。スキャンを継続する場合は [スキャン継続] を、スキャンを終了させる場合は [スキャンストップ] をクリックします。
- 9 ▶ 読み取りが終了したら、[ファイル]メニューから[アプリケーションの終了]を選択し、CapturePerfect を終了させます。

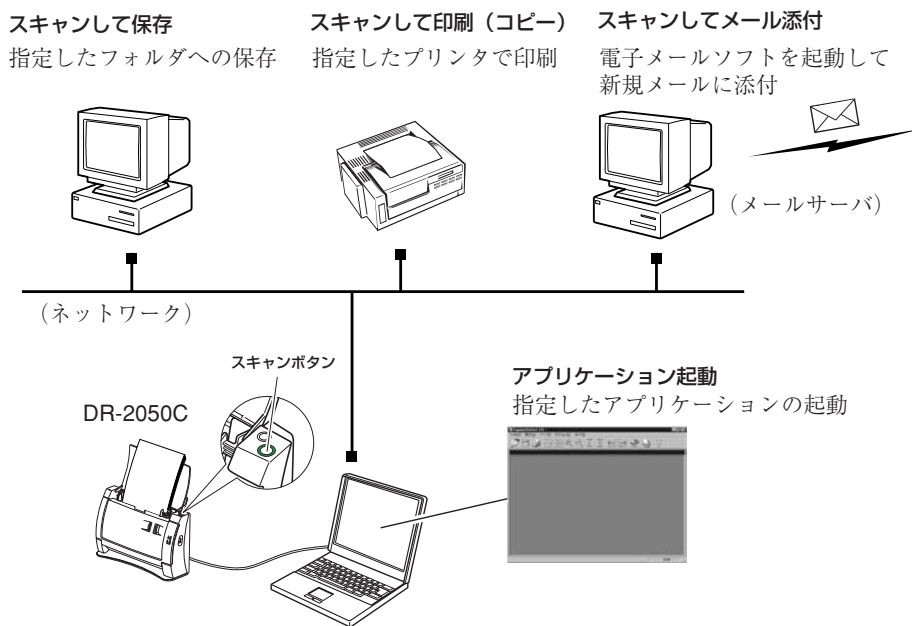


ジョブ機能によるスキャン

ジョブ機能は、Windows のイベント機能とジョブツールによってスキャナ本体のスキャンボタンを押すだけでスキャンを行なうことができる機能です。スキャンした画像データは、ジョブ登録ツールによりジョブボタンに登録された機能で自動的に処理されます。

スキャンボタンには、以下の4つの機能から1つを選択して登録します。

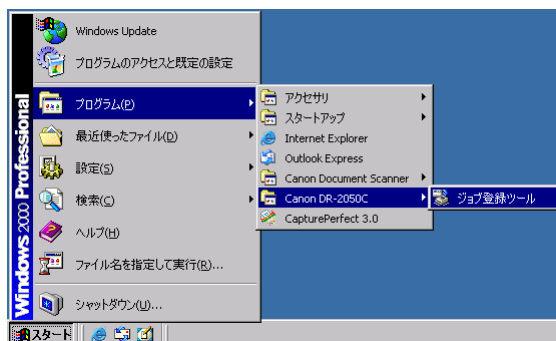
- **スキャンして保存**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したフォルダに画像ファイルを保存します。
- **スキャンして印刷（コピー）**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。
- **スキャンしてメール添付**
設定した読み取り条件でスキャンを行ない、電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。
- **アプリケーション起動**
「イベント機能の設定」(→ P.35) で選択した設定したアプリケーションを起動します。



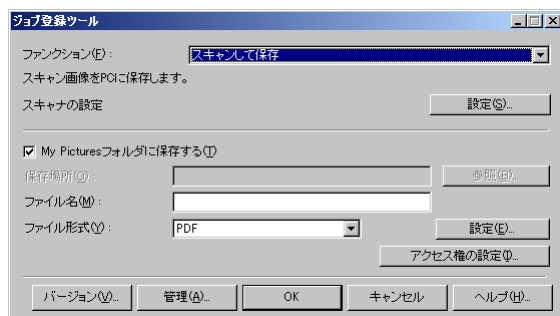
ジョブスキャンの手順

ここでは、ジョブ登録ツールの起動から、ジョブスキャンまでの手順について説明します。ジョブ登録ツールの設定については「ジョブ登録ツールの設定項目」(P.50) および、ジョブ登録ツールのヘルプを参照してください。
また、「アプリケーション起動」を選択した場合、イベントの設定が必要になります。(→P.35 「イベント機能の設定」)

- 1 [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム](Windows XPの場合は[すべてのプログラム])-[DR-2050C]-[ジョブ登録ツール]をクリックします。



ジョブ登録ツールが起動します。



メモ

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアです。

- 2** ジョブ登録ツールの設定を行ないます。
ジョブ登録ツールの設定については「ジョブ登録ツールの設定項目」(→P.50)
および、ジョブ登録ツールのヘルプを参照してください。

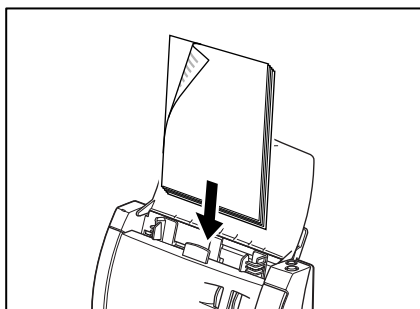


メモ

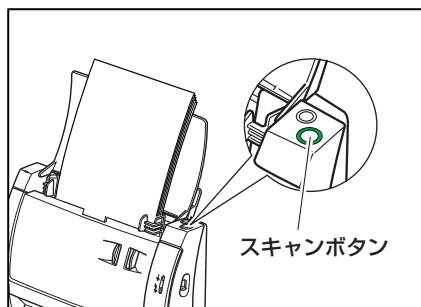
「アプリケーション起動」を選択した場合、イベントの設定を行ないます。
(→P.35「イベント機能の設定」)

- 3** [OK] をクリックしてジョブ登録ツールを終了します。

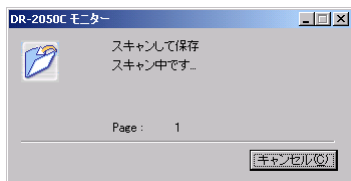
- 4** 原稿をセットします。(→P.21「原稿のセット」)



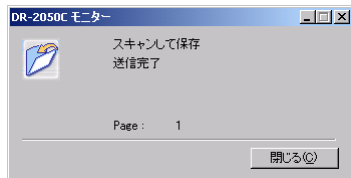
- 5** スキャンボタンを押します。



DR-2050C モニターが表示され、スキャンを実行します。



- 6 原稿が無くなったら指定された条件で画像データを送信します。
DR-2050C モニターに「送信完了」が表示されます。



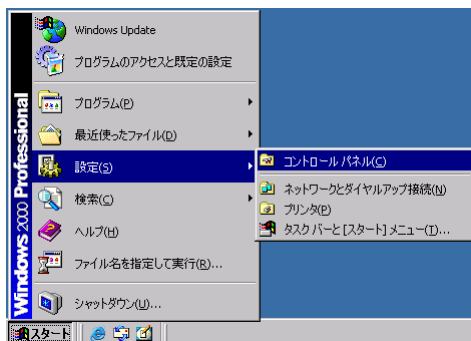
- 7 [閉じる] をクリックして DR-2050C モニターを閉じます。

イベント機能の設定

「イベント」の設定では、ジョブ登録ツールの「アプリケーションを起動」を選択した時に起動させるアプリケーションを選択します。

- 1 「イベント」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。(WindowsXP の場合、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



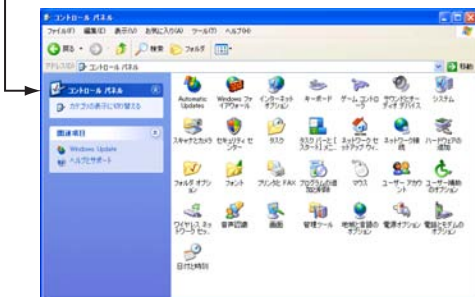
- WindowsXP の場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタとその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

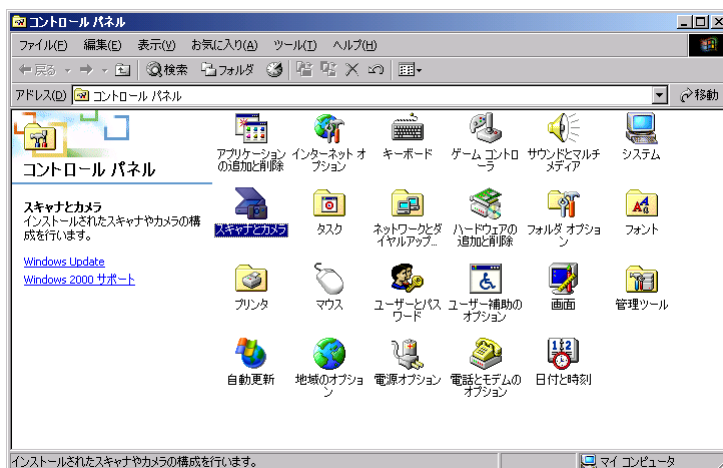
プリンタとその他のハードウェア



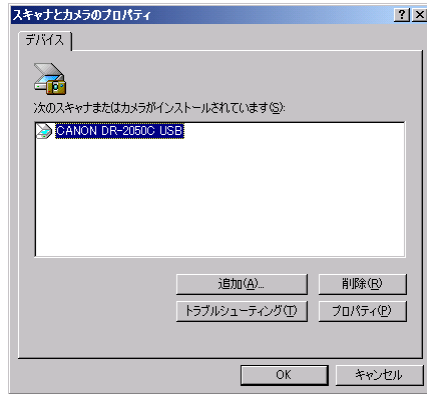
コントロールパネル (クラシック表示)



- 「スキャナとカメラ」をクリックします。



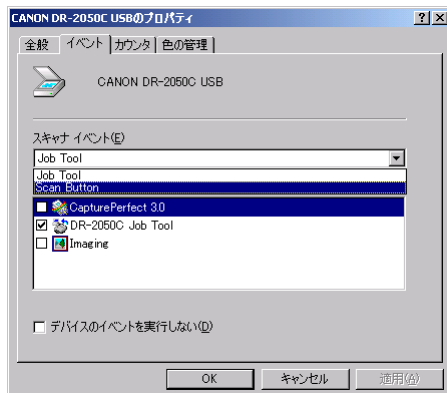
4. [CANON DR-2050C USB] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



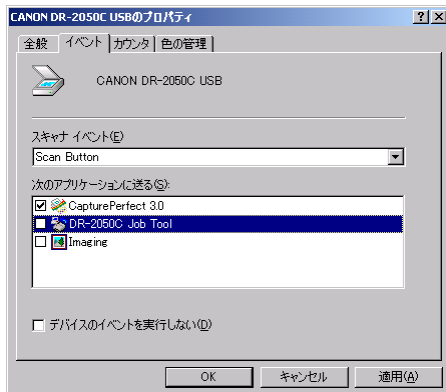
5. [イベント] タブをクリックします。



- 2 「スキャナイベント」を [Scan Button] にします。



- 3 「次のアプリケーションに送る」で、起動させるアプリケーション以外のチェックを外し、[適用] をクリックします。



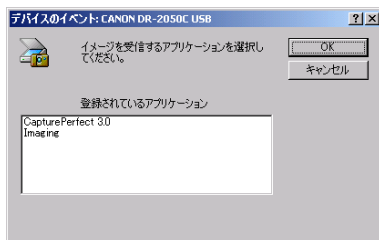
- 4 [OK] をクリックして「スキャナとカメラのプロパティ」を閉じます。

- 5 イベント機能の設定変更を有効にするために Windows を再起動させます。



メモ

- 「次のアプリケーションに送る」で複数のアプリケーションがチェックされていると、「アプリケーションを起動」を選択してスキャンボタンを押した時にアプリケーションを選択するダイアログボックスが表示されます。



- イベントでアプリケーションを起動させた場合、アプリケーションによっては正常に動作しない場合があります。
- イベントを使用しない場合、[デバイスのイベントを実行しない]チェックボックスをチェックします。

5. 紙詰まりの処理

原稿をスキャン中に紙詰まりが発生したら、以下の手順に従って処理します。

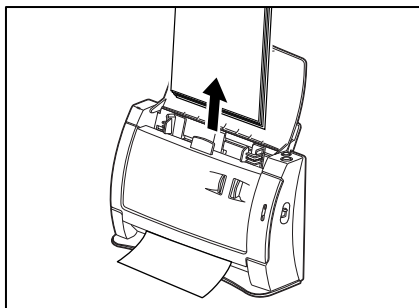


注意

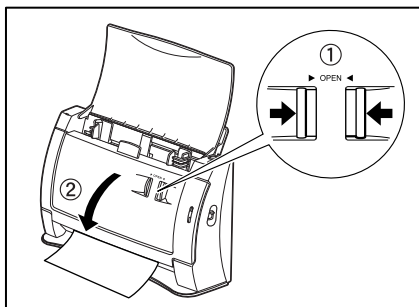
詰まった紙を取り除くときは慎重に行ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。



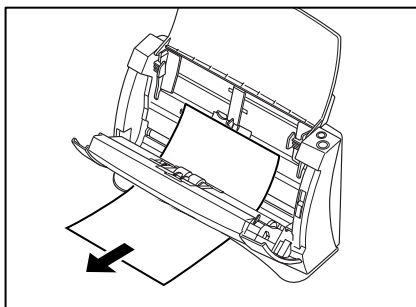
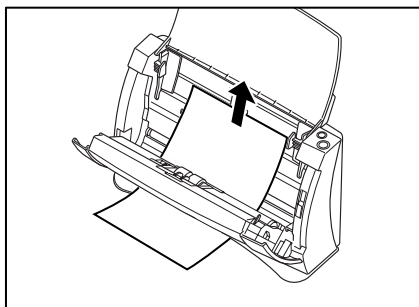
1 給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



2 OPENつまみを両側から押して①、前ユニットを手前に開きます②。



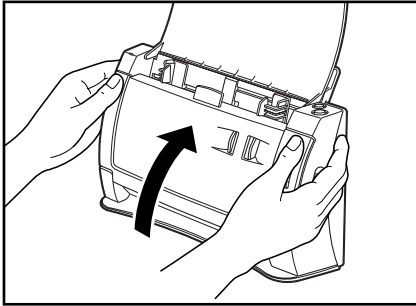
3 給紙側、または排紙側から詰まった原稿を取り除きます。



お願い

原稿は無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。

- 4 ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



メモ

処理が終わったら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

6. こんなときは

DR-2050C でスキャンを行なう場合の設定例です。ISIS/TWAIN ドライバを設定する際の参考にしてください。該当項目の設定については、「ソフトウェアの設定項目」(→P.45)を参照してください。

両面原稿の読み取り

- **両面原稿をスキャンしたい。**
読み取り面の設定を「両面」に設定します。
→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑦」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑦」

非定形サイズ原稿の読み取り

- **非定形サイズの原稿をスキャンしたい。**
定形サイズを指定して非定形サイズの原稿をスキャンすると、原稿の周りに黒い部分ができます。非定形サイズの原稿をスキャンするときは、読み取りサイズの設定を「自動検知」に設定します。原稿のサイズが自動検知されます。
→P.46 「ISIS ドライバ設定 ③」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ③」
- **非定形サイズの原稿サイズを登録したい。**
用紙サイズに登録されていない原稿サイズを「カスタム用紙サイズ」として登録することができます。
→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑩」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩」
- **原稿の一部をスキャンしたい。**
スキャン領域を指定してスキャンします。但し、読み取りサイズの設定が「自動検知」のときは領域を指定することはできません。
→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑬」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑬」

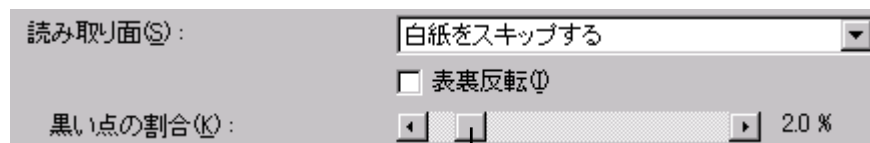
複数原稿の読み取り

- **1度にセットできない原稿の束を複数の束に分けて連続スキャンしたい。**
給紙オプションの設定を「自動」に設定します。原稿のセットをスキャナが検知すると自動でスキャンが開始されるため、原稿を繰り返しセットするだけで連続してスキャンを行なうことができます。
給紙オプションの設定を「パネル」に設定した場合は、原稿をセットしたあとに、スキャンボタンを押さないとスキャンが開始されません。原稿をセットしたあとに原稿を揃えるときになど有効です。
→P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑧」

- **連続スキャンで原稿の束ごとにファイルを分けたい。**
給紙オプションの設定を「自動」または「パネル」に設定し、バッチ区切りを「自動」にします。(ISIS ドライバのみ)
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑧, ⑨」
- **原稿の束を 1 枚ずつスキャンしたい。(TWAIN ドライバ)**
スキャンオプションで「1 ページスキャン」を選択します。片面スキャンで 1 枚のみスキャンされます。(両面スキャンはされません)
→ P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩」

白紙原稿の読み取り

- **原稿の束に含まれている白紙ページの原稿をスキップしてスキャンしたい。**
読み取り面の設定を「白紙をスキップする」に設定します。両面スキャンを行ない、白紙ページをスキップします。
→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑦」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑦」
- **白紙スキップにしても白紙がスキップされない。**
「黒い点の割合」の設定値を高く（スライダを右方向に）調整します。「黒い点の割合」の設定値が低いと、原稿の地色やゴミなどにより白紙がスキップされない場合があります。
- **文字のある原稿が白紙としてスキップされる。**
「黒い点の割合」の設定値を低く（スライダを左方向に）調整します。「黒い点の割合」の設定値が高いと、文字のある原稿でも白紙としてスキップされる場合があります。



白紙がスキップされない場合、スライダを右に調整
文字原稿がスキップされる場合は、スライダを左に調整

スキャンしたときの色の調整

- **地色の濃い原稿をきれいにスキャンしたい。**

読み取りモードの設定を「テキストエンハンス」に設定します。原稿の地色が除去され、文字が強調されます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ②」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ②」
- **雑誌やカタログなどの写真をスキャンしたときに発生するモアレを抑えたい。**

解像度 400dpi 以下、[256 階調スムージンググレー] または、[24 ビットスムージングカラー] でスキャンします。画像を平均化し、モアレの発生を抑えます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ②」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ②」
- **特定の色を読み飛ばしたい。**

ドロップアウトカラーの設定で読み飛ばす色を指定します。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑬」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑬」
- **印鑑の印影を強調したい。**

ドロップアウトカラーの設定で「赤強調」を選択します。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑬」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑬」
- **画像の輪郭をはっきりさせたい。**

「エッジ強調」の設定を調整します。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑰」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑰」
- **画像の周りにできる黒い部分を削除したい。**

「黒枠消し」チェックボックスをチェックします。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑱」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑱」
- **白黒反転させてスキャンしたい。**

「白黒反転」チェックボックスをチェックします。(TWAIN ドライバのみ)

→ P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑲」

プレスキャン

- スキャンする前に画像を確認したい。

ISIS ドライバの場合、「プレスキャン」チェックボックスをチェックします。スキャン開始時にプレビューウィンドウが表示されます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ⑩」

TWAIN ドライバの場合、「プレスキャン」チェックボックスをチェックして、「プレビュー」ボタンをクリックします。原稿を 1 枚スキャンしてプレビューウィンドウが表示されます。

→ P.48 「TWAIN ドライバ設定 ⑩, ⑭」

設定の登録

- 設定したスキャン条件を次回も使用したい。

ユーザー設定に名前を付けて登録します。登録したユーザー設定の名前を選択すると、設定条件が反映されます。

→ P.46 「ISIS ドライバ設定 ①」、P.48 「TWAIN ドライバ設定 ①」

CaptuerPerfect のジョブスキャンでは、スキャン条件の他に、スキャン方法も一緒にジョブとして登録でき、「ジョブ選択」 - 「スキャン実行」の 2 つの手順でスキャンを行なうことができます。

7. ソフトウェアの設定項目

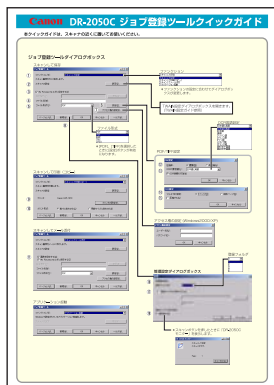
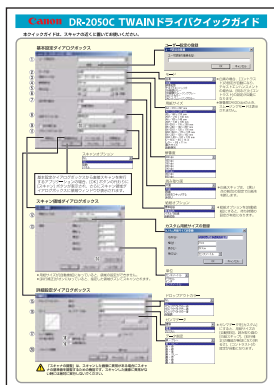
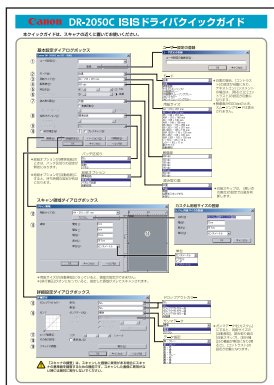
本項は、ISIS ドライバ、TWAIN ドライバおよび、ジョブ登録ツールを設定する際の設定項目について簡単に説明しています。詳細の説明についてはそれぞれのヘルプと合わせてお読みください。

ISIS ドライバの設定項目 P.46
 TWAIN ドライバの設定項目 P.48
 ジョブ登録ツールの設定項目 P.50



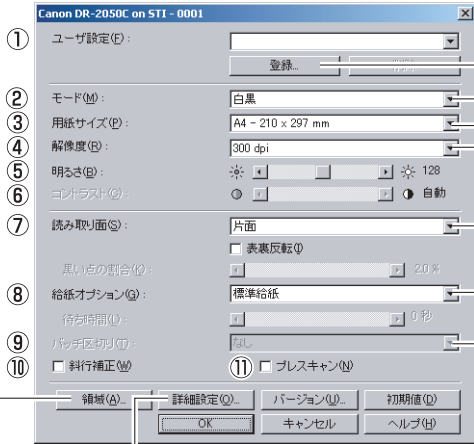
メモ

セットアップディスクに納められている本ユーザーズガイドのPDFファイルには、本項の説明をスキャナの近くに置いてお使いになりたい方のために、本項と同じ内容で「クイックガイド」として添付されています。プリンタで印刷し、スキャナの近くに置いてお使いください。



ISIS ドライバの設定項目

基本設定ダイアログボックス



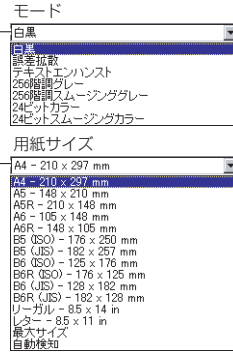
- ① ユーザ設定
- ② モード
- ③ 用紙サイズ
- ④ 解像度
- ⑤ 明るさ
- ⑥ コントラスト
- ⑦ 読み取り面
- ⑧ 給紙オプション
- ⑨ バッチ区切り
- ⑩ 斜行補正

* 給紙オプションが[標準給紙]のときは、バッチ区切りの設定が無効になります。

* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。

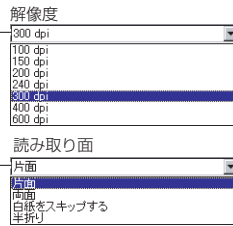


ユーザー設定の登録



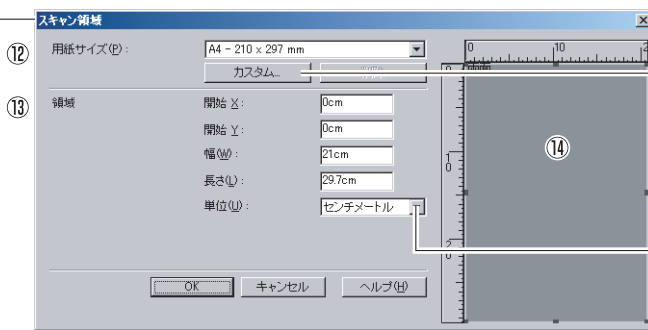
* 白黒の場合、[コントラスト]の設定が自動になり、テキストエンハンスメントの場合は、[明るさ]と[コントラスト]の設定が自動になります。

* 解像度が600dpiのとき、スレーディングモードは表示されません。



* 白紙スキップは、[黒い点の割合]の設定で白紙を判断します。

スキャン領域ダイアログボックス

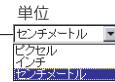


- ⑫ 用紙サイズ
- ⑬ 領域

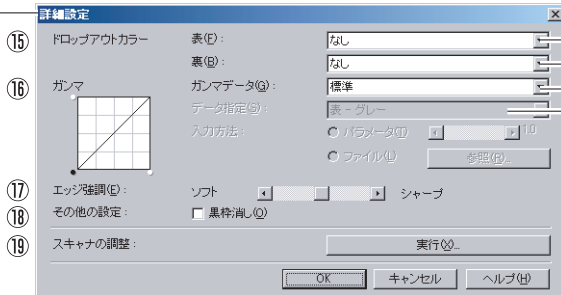
* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。

* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

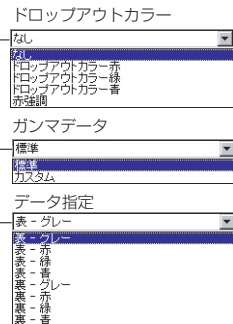
カスタム用紙サイズの登録



詳細設定ダイアログボックス



- ⑮ ドロップアウトカラー
- ⑯ ガンマ
- ⑰ エッジ調整
- ⑱ その他の設定
- ⑲ スキャナの調整



* ガンマデータを[カスタム]にすると、用紙サイズの[自動検知]、読み取り面の[白紙スキップ]、[斜行補正]の機能が無効になり[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になります。

⚠ 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時には絶対に実行しないでください。

基本設定ダイアログボックス

- ① **ユーザー設定**
設定した内容に名称を付けて登録します。
☞ 入力は、半角で32文字、全角で16文字以下。
- ② **モード**
スキャンするモードを選択します。
☞ スムージングモードは解像度が400dpi以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ **用紙サイズ**
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。
- ④ **解像度**
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ **明るさ**
明るさを調整します。
☞ モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ **コントラスト**
コントラストを調整します。
☞ モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、コントラストは自動になります。
- ⑦ **読み取り面**
原稿をスキャンする面を選択します。
☞ [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
☞ [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細についてはP.25「半折り原稿のセット」を参照してください。
☞ [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
☞ [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0～20%) を指定します。
- ⑧ **給紙オプション**
原稿の給紙方法を選択します。
☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。
☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
☞ [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ **バッチ区切り**
給紙オプションで [パネルで給紙]、[自動給紙] が選択されているときに有効になり、原稿の束毎に

バッチを区切ることができます。

- ☞ [自動] は、[パネルで給紙]、[自動給紙] でスキャンが開始されるタイミングでバッチ区切りが行なわれます。
 - ☞ [パネル] は、スキャンパネルの [バッチ区切り] ボタンでバッチ区切りを行ないます。
- ⑩ **斜行補正**
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
 - ⑪ **プレスキャン**
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

スキャン領域ダイアログボックス

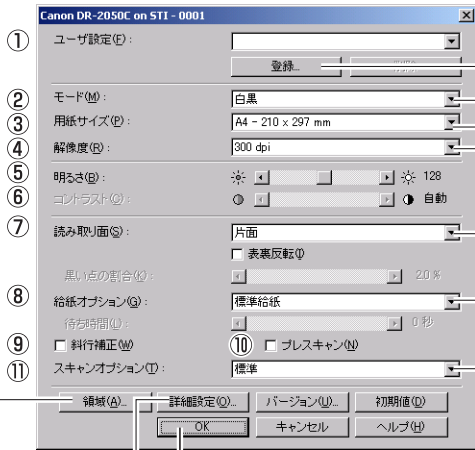
- ⑫ **用紙サイズ**
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ **領域**
スキャンする領域を選択します。
☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ **領域ウィンドウ**
用紙サイズの設定に合わせて表示が変化します。
☞ マウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。

詳細設定ダイアログボックス

- ⑮ **ドロップアウトカラー**
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤/緑/青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ **ガンマ**
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。詳細な設定については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。
- ⑰ **エッジ強調**
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ **黒枠消し**
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ **スキャナの調整**
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、P.71「スキャン結果がおかしい」を参照してください。

TWAIN ドライバの設定項目

基本設定ダイアログボックス



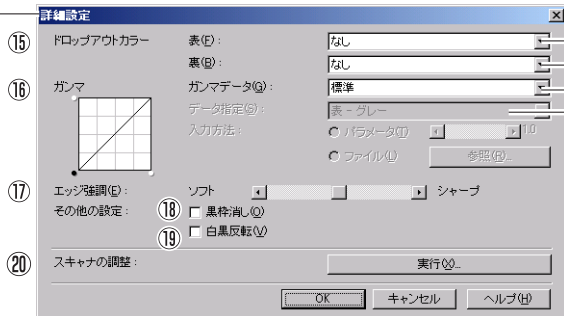
基本設定ダイアログボックスから直接スキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、さらにスキャン領域ダイアログボックスに領域ウィンドウが表示されます。

スキャン領域ダイアログボックス



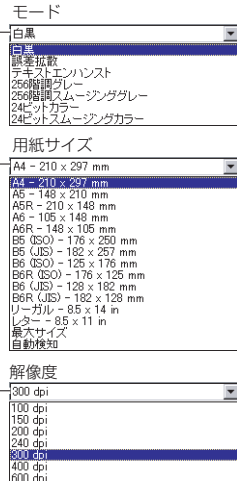
* 用紙サイズが [自動検知] になっていると、領域の設定ができません。
 * [斜行補正] がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

詳細設定ダイアログボックス



⚠ 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時には絶対に実行しないでください。

ユーザー設定の登録



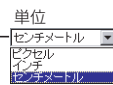
* 白黒の場合、[コントラスト] の設定が自動になり、テキストエンハンスメントの場合は、[明るさ] と [コントラスト] の設定が自動になります。

* 解像度が 600dpi のとき、スムージングモードは表示されません。

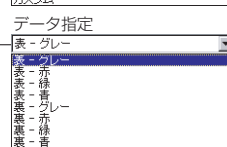
* 白紙スキップは、[黒い点の割合] の設定で白紙を判断します。

* 給紙オプションを [自動給紙] にすると、待ち時間の設定が有効になります。

カスタム用紙サイズの登録



ドロップアウトカラー



* ガンマデータを [カスタム] にすると、用紙サイズの [自動検知]、読み取り面の [白紙スキップ]、[斜行補正] の機能が無効になり [明るさ]、[コントラスト] の設定が自動になります。

基本設定ダイアログボックス

- ① **ユーザー設定**
設定した内容に名称を付けて登録します。
- ② **モード**
スキャンするモードを選択します。
☑ [スムージンググレー / カラー] は解像度が400DPI以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ **用紙サイズ**
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☑ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。
- ④ **解像度**
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ **明るさ**
明るさを調整します。
モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ **コントラスト**
コントラストを調整します。
モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、コントラストは自動になります。
- ⑦ **読み取り面**
原稿をスキャンする面を選択します。
☑ [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
☑ [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細についてはP.25「半折り原稿のセット」を参照してください。
☑ [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
☑ [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0 ~ 20%) を指定します。
- ⑧ **給紙オプション**
原稿の給紙方法を選択します。
☑ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。
☑ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
☑ [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ **斜行補正**
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
- ⑩ **プレスキャン**
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

- ⑪ **スキャンオプション**
スキャン時の動作を指定します。
☑ [標準] は、読み取った原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。
☑ [先き読みスキャン] は、原稿を連続してスキャンします。
☑ [1 ページスキャン] は、読み取り面の設定が [片面] に固定され、原稿を1枚だけスキャンします。

スキャン領域ダイアログボックス

- ⑫ **用紙サイズ**
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☑ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ **領域**
スキャンする領域を選択します。
☑ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ **プレビュー**
[プレスキャン] が有効になっているときにこのボタンを押すと原稿を1枚スキャンして、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

詳細設定ダイアログボックス

- ⑮ **ドロップアウトカラー**
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ **ガンマ**
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。詳細な設定については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。
- ⑰ **エッジ強調**
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ **黒枠消し**
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ **白黒反転**
モードの設定が [白黒]、[誤差拡散]、[テキストエンハンスメント] のときに原稿を白黒反転させてスキャンします。
- ⑳ **スキャナの調整**
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、P.71「スキャン結果がおかしい」を参照してください。

ジョブ登録ツールの設定項目

ジョブ登録ツールダイアログボックス

① スキャンして保存

② スキャナの設定

③ My Picturesフォルダに保存する(O)

④ 保存場所(O):

⑤ ファイル名(N):

⑥ ファイル形式(O): PDF

⑦ 設定(S)

⑧ アクセス権の設定(Q)

⑨ ファイル形式

- PDF
- BMP
- TIFF
- JPEG

* [PDF]、[TIFF]を選択したときに[設定]ボタンが有効になります。

⑩ ファンクション

- スキャンして保存
- スキャンして印刷(コピー)
- スキャンしてメール添付
- アプリケーション起動

* ファンクションの設定に合わせてダイアログボックスが変更します。

⑪ TWAIN設定ダイアログボックスを開きます。(TWAIN設定ガイド参照)

⑫ OCR言語設定

- 日本語と英語
- 日本語
- 英語
- スペイン語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- オランダ語
- 韓国語
- 中国語

⑬ PDF/TIFF設定

⑭ PDF設定

- 圧縮率: 標準(O)
- OCR対象言語(L): 日本語と英語
- OCR情報の付加(O)

⑮ TIFF設定

- マルチTIFF設定: 1ページ(O)
- 複数ページ(O)
- 圧縮する(O)

⑯ スキャンして印刷 (コピー)

⑰ プリント: Canon LBP-1810

⑱ プリント形式: 奥面に合わせる(O) 用紙サイズに合わせる(O)

アクセス権の設定 (Windows2000/XP)

⑲ アクセス権の設定

ユーザー名(U):

パスワード(P):

OK キャンセル

⑳ スキャンしてメール添付

㉑ 画像を保存する(O)

㉒ My Picturesフォルダに保存する(O)

㉓ 保存場所(O):

㉔ ファイル名(N):

㉕ ファイル形式(O): PDF

㉖ 設定(S)

㉗ アクセス権の設定(Q)

登録フォルダ

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 0

管理設定ダイアログボックス

㉘ 管理

⑳ 容量警告設定

登録フォルダ(F):

㉙ 警告ダイアログを表示する(O)

登録監視フォルダ:

警告を出すサイズ(S): 300 MB (0-1000000)

㉚ 接続ダイアログ表示設定

連携表示(O)

㉛ 添付ファイルの上限(L): 20 MB (1-20)

OK キャンセル

㉜ DR-2050C モニター

スキャンして保存
スキャン中です。

Page: 1

キャンセル

* スキャンボタンを押したときに「DR-2050Cモニター」を表示します。

ジョブ登録ツールダイアログボックス

- ① **ファンクション**
 スキャンボタンに割り当てる機能を選択します。
 ☞ジョブ登録ツールダイアログボックスは、[ファンクション]の選択によってダイアログボックスが変更します。
 ☞[アプリケーション起動]を使用するときは、コントロールパネルの「スキャナとカメラ」を開き、スキャナのイベントの設定を行ないます。
- ② **スキャナの設定**
 TWAINドライバ設定ダイアログボックスを開きスキャン条件を設定します。
- ③ **My Pictuers フォルダに保存する**
 スキャンした画像ファイルをマイドキュメントの中にある My Pictuers フォルダに保存します。
 ☞このチェックボックスをオフにすると保存場所を指定できます。
- ④ **ファイル名**
 ファイル名を指定します。
 ☞保存されるファイル名は、指定したファイル名にタイムスタンプが付加されて保存されます。
- ⑤ **ファイル形式**
 保存するファイル形式を選択します。
 ☞PDF/TIFF を選択した場合、[設定] ボタンが有効になります。
- ⑥ **[設定] ボタン**
 PDF/TIFF 設定ダイアログボックスを開きます。
- ⑦ **[アクセス権の設定] ボタン**
 Windows2000/XP で使用している場合に表示され、アクセス権の設定ダイアログボックスを開きます。
 ☞ネットワーク上の共有フォルダにアクセス権が無い場合に、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。
- ⑧ **[管理] ボタン**
 管理ダイアログボックスを開きます。
- ⑨ **プリンタ**
 「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。
 ☞[プリンタの設定] ボタンでプリンタの設定を変更します。
- ⑩ **プリント形式**
 印刷するサイズを指定します。
 ☞[実寸にあわせる] は、原稿と同じサイズで印刷します。
 ☞[用紙にあわせる] は、スキャンした画像が印刷する用紙より大きい場合に、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷します。
- ⑪ **画像を保存する**
 「スキャンしてメール添付」で、スキャンした画像を保存する場合にチェックします。

PDF/TIFF 設定

- ⑫ **圧縮率**
 圧縮率（標準、高圧縮）を選択します。
 ☞高圧縮を選択した場合、ファイルサイズが小さくなりますが、画質が若干低下します。
 ☞この設定は、グレースケール、カラー画像に対して有効です。
- ⑬ **OCR 情報の付加 / OCR 対象言語**
 原稿内の活字に対して文字認識を行ない、PDF ファイルにテキストデータを付加します。
 ☞[OCR 情報を付加] をオンにして保存された PDF ファイルには、活字の部分に認識したテキストデータが保存されています。
 ☞OCR を有効にした場合、TWAIN ドライバの設定にかかわらず、斜行補正が有効になります。
- ⑭ **マルチ TIFF 設定**
 複数ページある画像の保存方法について設定します。
 ☞[1 ページ] は、1 ページ / 1 ファイルで、画像の枚数だけの TIFF ファイルが作られます。
 ☞[複数ページ] は、全ページの画像を 1 ファイルに保存します。
- ⑮ **圧縮する**
 画像ファイルを圧縮して保存します。
 ☞白黒画像の場合、「CCITT グループ4」、グレースケール、カラー画像の場合は、「JPEG」で圧縮されます。

管理ダイアログボックス

- ⑯ **容量警告設定**
 画像ファイルを保存するフォルダを指定し、そのフォルダに保存できる容量をあらかじめ設定しておきます。
 ☞設定したフォルダを指定してスキャンを開始し、スキャン中に設定した容量を越えた場合に警告メッセージを表示します。
- ⑰ **登録フォルダ / 警告ダイアログを表示する**
 登録フォルダの番号を選択し、「警告ダイアログボックスを表示する」をチェックすると[容量監視フォルダ]と[警告を出すサイズ]が有効になります。
 ☞隠しファイルなど通常表示されないファイルは容量警告では計算されません。
 ☞容量警告が表示された時はメッセージに従ってスキャンを行なってください。
- ⑱ **進捗表示**
 スキャンボタンを押した時に、「DR-2050C モニター」を表示させて、進捗状況を表示します。

第3章 付 録

1. 日常のお手入れ	54
本体の清掃	54
本体内部の清掃	54
読み取りガラスとローラの清掃	55
金属ローラの清掃	57
2. ローラの取り外し / 取り付け	58
ローラの交換時期	58
カウンタのリセット	59
フィードローラの取り外し / 取り付け	61
リタードローラの取り外し / 取り付け	64
3. 困ったときは	67
4. ソフトウェアのアンインストール	74
ISIS/TWAIN ドライバ / ジョブ登録ツール のアンインストール	76
CapturePerfect のアンインストール	77
5. 仕様	79
仕様	79
交換部品	80
外形寸法図	81
保証とアフターサービス	82
修理受付窓口	83
サービス&サポートのご案内	84
保守サービスのご案内	85
アドビ製品について	86

1. 日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

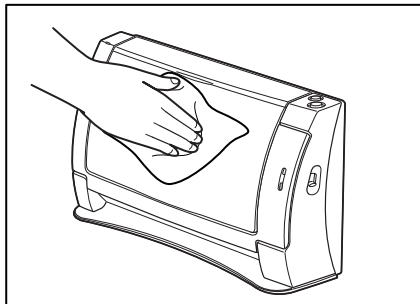


注意

- 本体および内部の清掃を行なうときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 金属ローラを清掃する場合は電源をオンにしておく必要がありますので、金属ローラの清掃を行う際は十分に注意してください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤はけっして使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



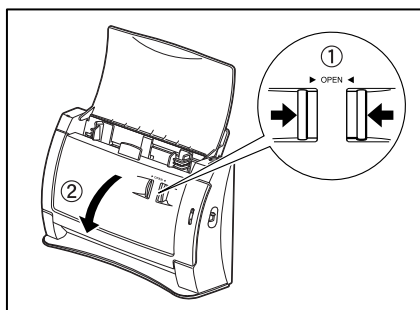
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉はブロアなどを使って定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナの電源を切った後に紙粉の除去を行なってください。

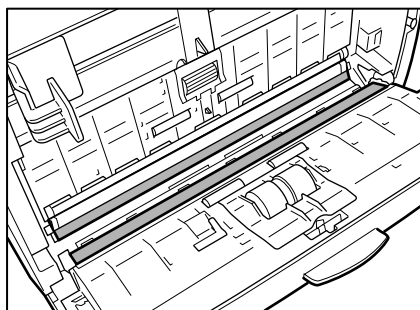
読み取りガラスとローラの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

- 1 給紙トレイを開きます。
- 2 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



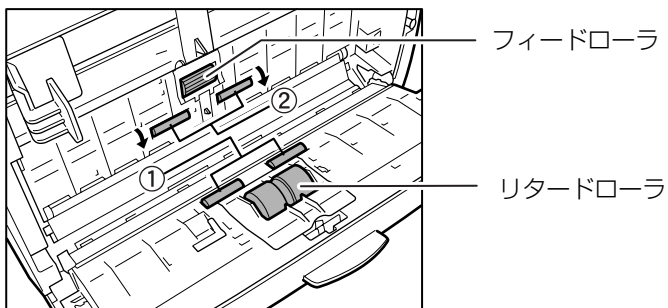
- 3 ブロアなどを使って、本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。
- 4 きれいな乾いた布で読み取りガラスの汚れを拭き取ります。
読み取りガラスは表面用と裏面用に二つあります、両方ともきれいに拭いてください。



- !** 注意
水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

- ☞** お願い
読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

- 5 ▶ ローラ ①、②を回転させながら清掃します。ローラは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いたあと、きれいな乾いたやわらかい布で拭いてください。



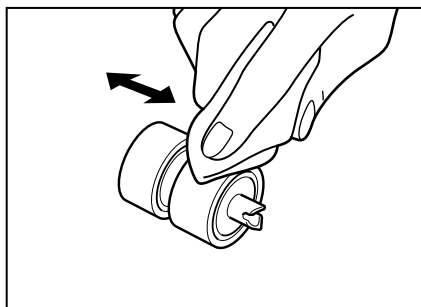
- 6 ▶ フィードローラ、リタードローラ を取り外します。(→ P.61、P.64)



お願い

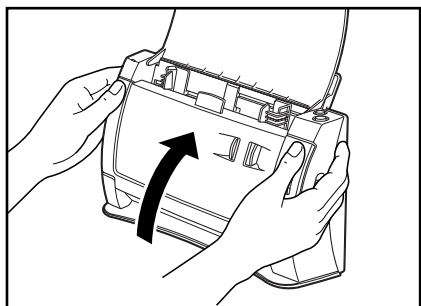
フィードローラとリタードローラは、本体から取り外して清掃し、清掃が終わったら本体に戻してください。

- 7 ▶ 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラの汚れを拭きとります。



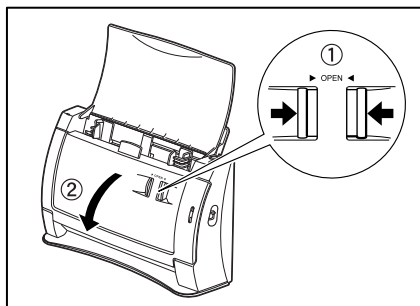
- 8 ▶ 取り外したローラを取り付けます。(→ P.62、P.65)

- 9 ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。

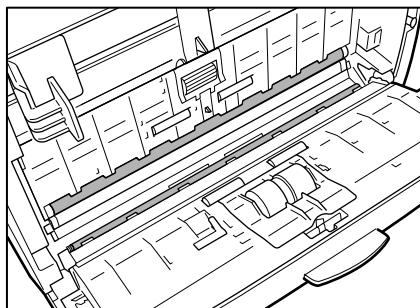


金属ローラの清掃

- 1 電源をオンにします。
- 2 給紙トレイを開きます。
- 3 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



- 4 きれいな乾いた布で金属ローラ (図の■の部分) を拭きます。
金属ローラは、スキャンボタンとストップボタンを同時に押しと少しずつ回転します。



注意

- 金属ローラは前ユニットと本体側に1つずつありますので、両方ともきれいに拭いてください。ただし、水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。また、本機や手が濡れていると感電の恐れがあります。
- 金属ローラの清掃中は本機の電源がオンになっていますので、十分に注意してください。

2. ローラの取り外し / 取り付け

フィードローラ、リタードローラの清掃および交換の際は、それぞれの手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。



お願い

搬送ローラは消耗品です。ローラが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは、交換用ローラキットをお買い求めの上、フィードローラ、リタードローラの交換を行ってください。

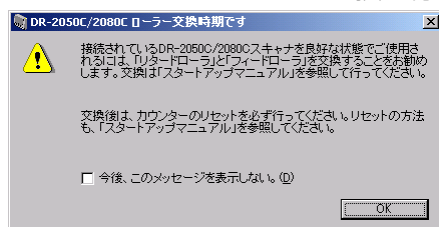


注意

ローラの取り外し、取り付けを行うときはには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

ローラの交換時期

搬送枚数が3万枚を越えた場合、コンピュータを再起動したときにローラ交換のメッセージが表示されます。交換ローラキットをお買い求めになり、フィードローラ、リタードローラの交換を行ってください。



お願い

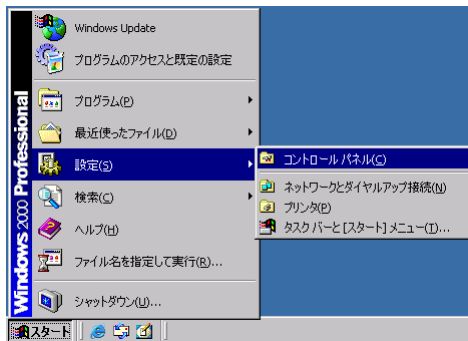
- メッセージが表示される前でも、搬送の不具合が起きやすくなってきたらローラの磨耗を確認の上、ローラを交換してください。
- ローラを交換後、カウンタは必ずリセットしてください。(→ P.59 「カウンタのリセット」)
- 交換ローラキット (フィードローラ、リタードローラ) についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

カウンタのリセット

搬送ローラを交換後、「カウンタ」の設定ダイアログボックスを開き、カウンタをリセットしてください。

1 「カウンタ」の設定ダイアログボックスを以下の手順で開きます。

1. [スタート]ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを開きます。(WindowsXPの場合、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]をクリックします。



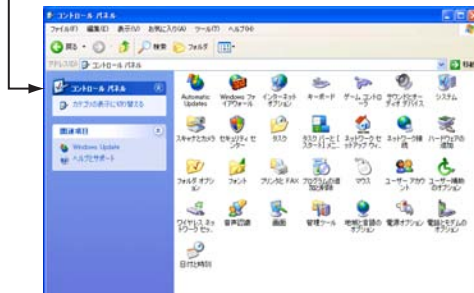
2. WindowsXPの場合、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えます。または、作業する分野で「プリンタをその他のハードウェア」を選択してください。

コントロールパネル (カテゴリ表示)

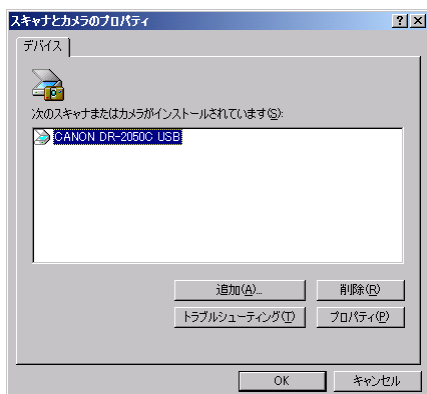
プリンタとその他のハードウェア



コントロールパネル (クラシック表示)



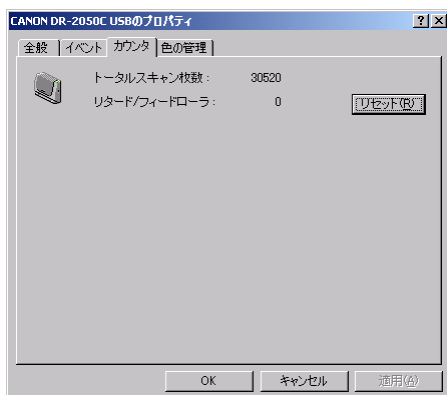
4. [CANON DR-2050C USB] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



5. [カウンタ] タブをクリックします。



- 2 ▶ [リセット] ボタンを押し、「リタード/フィードローラ」のカウンタが0にリセットされたことを確認します。



フィードローラの取り外し / 取り付け

フィードローラの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。

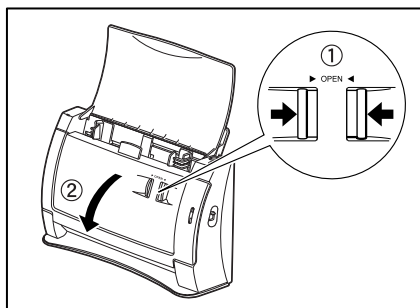


注意

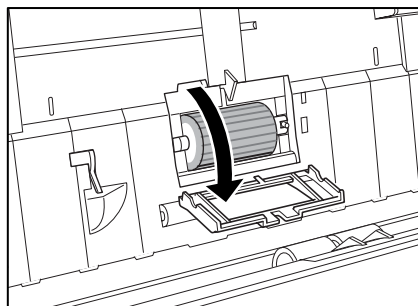
フィードローラの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

フィードローラの取り外し

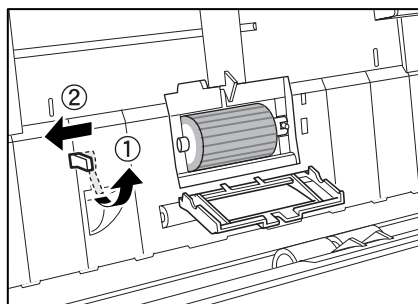
- 1** OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



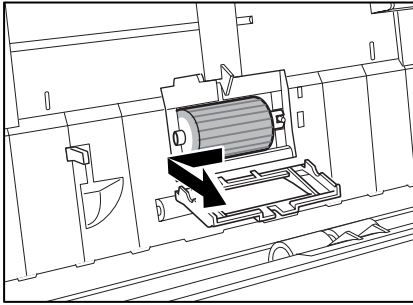
- 2** 本体側にあるローラカバーを開きます。カバーは、くぼみに指をかけて開きます。



- 3** ローラ固定レバーを起こし (①)、左方向へスライドさせます (②)。

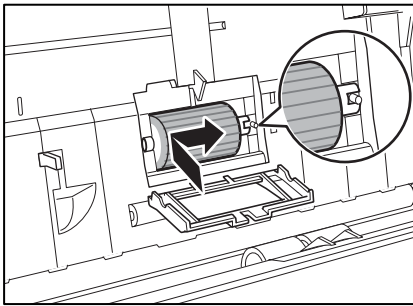


- 4** ▶ フィードローラを左に寄せて軸から離し、取り出します。

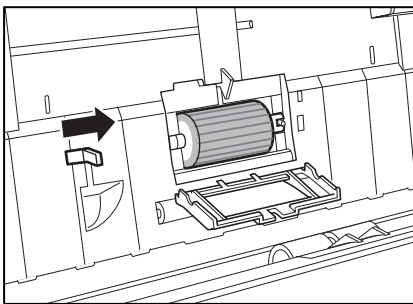


フィードローラの取り付け

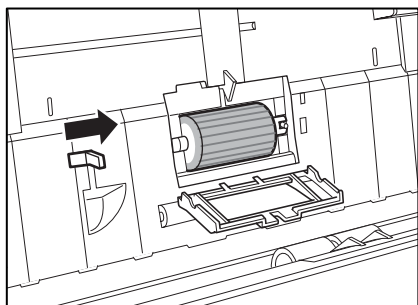
- 1** ▶ ローラカバー内部のくぼみに送りローラをセットし、ローラの切り欠き部を本体側の軸に合わせます。



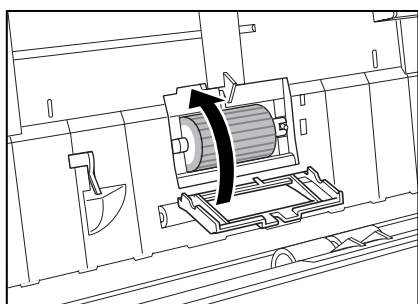
- 2** ▶ ローラ固定レバーを右にスライドさせ、フィードローラの左側の穴に、はめ込みます。



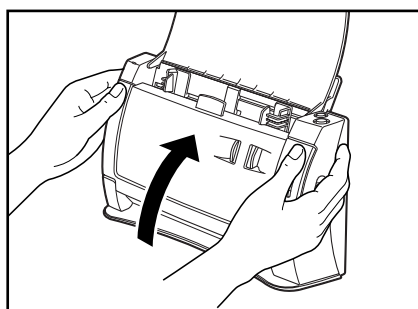
- 3 ▶ レバーを倒してフィードローラの軸を固定します。



- 4 ▶ ローラカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 5 ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



リタードローラの取り外し / 取り付け

リタードローラの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラの取り外し、取り付けを行ってください。

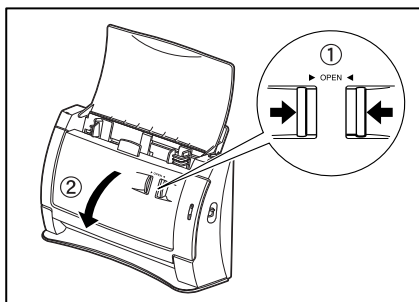


注意

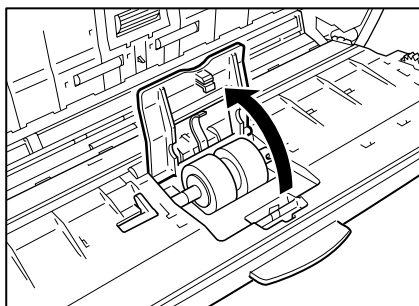
リタードローラの取り外し、取り付けを行うときには、無理な力を加えないでください。破損の原因になります。

リタードローラの取り外し

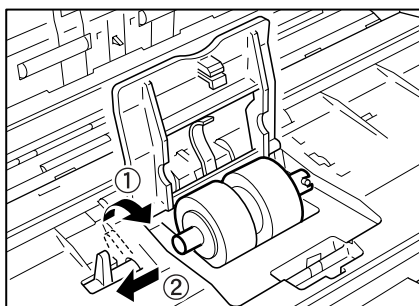
- 1 OPENつまみを両側から押しながら (①)、前ユニットを手前に開きます (②)。



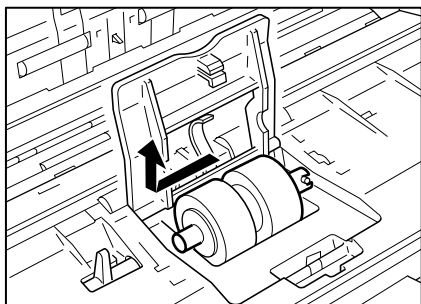
- 2 前ユニット内側にあるローラカバーの端を持って開きます。



- 3 ローラ固定レバーを起こし (①)、スライドさせます (②)。

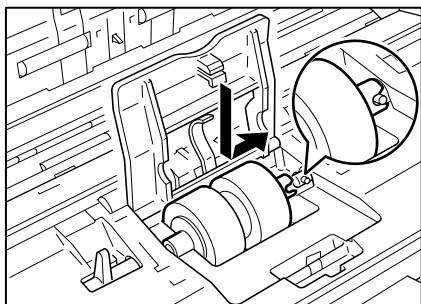


- 4 ▶ リタードローラを左に寄せて軸から離し、取り出します。

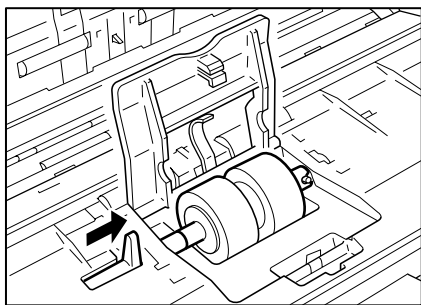


リタードローラの取り付け

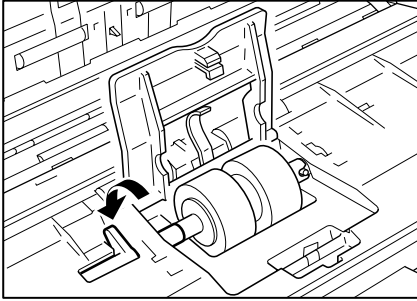
- 1 ▶ ローラカバー内部のくぼみにリタードローラをセットし、ローラの切り欠き部を前ユニットの軸に合わせます。



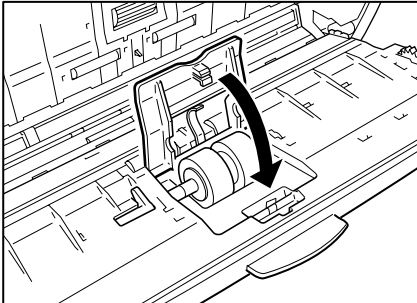
- 2 ▶ ローラ固定レバーを右にスライドさせ、リタードローラの左側の穴に、はめ込みます。



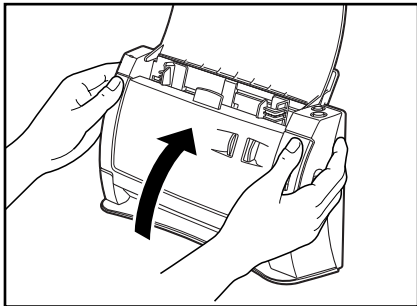
- 3** ▶ レバーを倒してリタードローラの軸を固定します。



- 4** ▶ ローラカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 5** ▶ 前ユニット上部の左右をゆっくり押します。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



3. 困ったときは

ここでは、スキャナ使用時に起こりうる問題とその対処方法を説明しています。遭遇したトラブルに該当する参照先をお読みください。

電源が入らない	P.67
スキャナが認識されない.....	P.67
スキャン速度が遅い	P.68
スキャンされない	P.69
正しく給紙されない	P.70
正しく排紙されない	P.70
保存した画像ファイルが開けない	P.71
スキャン結果がおかしい.....	P.71

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または 83 ページに記載されているサービス窓口にご相談ください。

× 電源が入らない

スキャナの電源が入らない時は、次のことを確認してください。

- 電源スイッチはオンになっていますか？
- 電源コードは確実に接続されていますか？
- 電源コードはコンセントに差し込まれていますか？

電源コードの接続については、簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」を参照してください。

× スキャナが認識されない

コンピュータがスキャナを認識しないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	スキャナが正しく接続されていない。
対処方法	スキャナとコンピュータが、USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。（→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」）

原因	USB2.0 インターフェースカードがコンピュータに正しく取り付けられていない。
対処方法	USB2.0 インターフェースカードの取扱説明書を参照して、USB2.0 インターフェースカードをコンピュータに正しく取り付けてください。 また、使用しているオペレーティングシステムに応じて USB2.0 インターフェースカードが Windows に認識されていることを確認してください。
原因	スキャナの電源がオフになっている。
対処方法	スキャナの電源がオンになっているか確認し、スキャナの電源が入っていないときは、スキャナの電源をオンにしてください。 (→簡単スタートガイド「Step 4. コンピュータとの接続」)
原因	USB2.0 インターフェースカードがスキャナに対応していない。
対処方法	推奨の USB2.0 インターフェースカードをご使用ください。 (→P.14)
原因	USB ケーブルがスキャナに対応していない。
対処方法	同梱の USB ケーブルをご使用ください。
原因	USB HUB がスキャナに対応していない。
対処方法	USB HUB を取り外してご使用ください。(→P.14)

✕ スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	他のアプリケーションが起動している。
対処方法	起動中の他のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウィルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している。
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMP フォルダに一時ファイルを作れない。
対処方法	ハードディスクのファイルを整理してハードディスクの空き容量を増やしてください。

原因 USB インタフェースが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法 推奨の USB2.0 インタフェースカードをご使用ください。(→ P.14)

原因 USB ケーブルが Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法 同梱の USB ケーブルをご使用ください。

原因 USB HUB が Hi-Speed USB2.0 に対応していない。
対処方法 Hi-Speed USB2.0 に対応した USB HUB に交換または USB HUB を取り外してご使用ください。(→ P.14)

× スキャンされない

読み取りの動作を行ってもスキャンされないときは、次のことを確認してください。

- スキャナがコンピュータに正しく認識されていますか？
- スキャナドライバはインストールしましたか？
- アプリケーションソフトウェアは正しくインストールされていますか？ また、アプリケーションソフトウェアでの設定は正しく行われていますか？
- コンピュータのシステムに異常はありませんか？



お願い

- 読み取りのための設定をしても正常に読み取りが行われない場合は、スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアが正常に動作していない可能性があります。スキャナドライバまたはアプリケーションソフトウェアを再インストールしてください。
- システムエラーなどによりスキャナがまったく動作しなくなったときは、スキャナの電源をオフにし、10 秒以上待ってからスキャナの電源を入れてください。その後、エラーが続けて発生するようなときは、コンピュータを再起動してください。
- 読み取りを続けるときは、最後の原稿が正しく読み取られていることを確認してください。

× 正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、以下の原因が考えられます。それぞれの原因に応じた方法で対処してください。

原因	静電気などが原因で原稿が密着し、スキャナで正常に分離できない。
対処方法	原稿をセットする前に、原稿の束をよくさばいてからスキャナにセットしてください。(→P.21「分離給紙の手順」)
原因	スキャナで読み取ることができないサイズ・紙厚・紙質の原稿を読み取ろうとした。
対処方法	原稿のサイズ・紙厚・紙質を確認してください。原稿についての注意事項は、P.18「原稿について」を参照してください。
原因	スキャナ本体内部のローラが汚れていたり摩耗している。
対処方法	P.55を参照してローラを清掃してください。なお、ローラが摩耗している場合は、ローラの交換が必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡し、交換ローラキットをお買い求めください。

詰まった原稿の取り除きかたについては、P.39「紙詰まりの処理」を参照してください。

× 正しく排紙されない

複数枚の原稿をセットした状態で1枚ずつ読み取りを行う場合、読み取った原稿の後端が排紙ローラに引っ掛かった状態で停止します。

原因	この現象は、次の原稿を待機状態で停止させるための仕様であり、紙詰まりではありません。
対処方法	排紙ローラに引っ掛かった原稿を手で引き抜いてから次の読み取りを行うか、そのままの状態での読み取りを行ってください。

詰まった原稿の取り除きかたについては、P.39「紙詰まりの処理」を参照してください。

× 保存した画像ファイルが開かない

CapturePerfect で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けない場合には、以下の原因が考えられます。状況を確認し、対応する処置をしてください。

現象	CapturePerfect で保存したマルチページ TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。
原因	開こうとしたアプリケーションがマルチページ TIFF ファイルに対応していません。
対処方法	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。
現象	CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが他のアプリケーションで開けない。
原因	CapturePerfect で保存した TIFF ファイルが圧縮されている場合、開こうとしたアプリケーションが、CapturePerfect で保存した圧縮形式に対応していません。
対処方法	画像ファイルの圧縮形式を [なし] に設定して CapturePerfect で保存し直してください。

× スキャン結果がおかしい

読み取った画像が鮮明でなかったり、画像に筋や汚れが付いているなど、スキャン結果の画像に問題があるときは、ISIS/TWAIN ドライバの設定が正しくなかったり、スキャナ内部の読み取りユニットに問題があることが原因として考えられます。また、ISIS/TWAIN ドライバが、正常にインストールされていなかったり、使用しているアプリケーションが ISIS/TWAIN ドライバの機能に対応していないこともスキャン結果がおかしくなる原因となります。

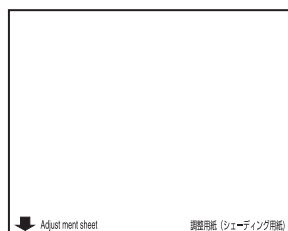
現象	スキャンした画像が濃い（または薄い）
原因	「明るさ」の設定が適正な値になっていません。
対処方法	画像が濃い場合には「明るさ」の設定値を高く、画像が薄い場合には「明るさ」の設定値を低く調整してください。
現象	原稿の裏面の文字が画像に写り込む。（裏写り）
原因	「明るさ」の設定値が低過ぎる。または、紙厚が薄い。
対処方法	「明るさ」の設定を高くしてください。紙厚が薄い場合には複写機でコピーしてからスキャンしてください。

現象	両面スキャンができない。
原因	「読み取り面」の設定が「片面」になっている。
対処方法	「読み取り面」の設定を「両面」にしてください。
現象	スキャンした原稿の周りに黒い枠ができる。
原因	設定した用紙サイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がずれている。
対処方法	「用紙サイズ」の設定を「自動検知」に設定する。または、「黒枠消し」の設定をオンにします。
現象	スキャンした画像がななめになる。
原因	原稿が斜めに搬送されている。(斜行)
対処方法	原稿ガイドアダプタを使用して原稿の斜行を抑え、「斜行補正」をオンにします。(→P.20)
現象	画像にスジや汚れが入る。
原因	スキャナ本体内部の読み取りガラスやローラが汚れています。
対処方法	読み取りガラスとローラを清掃してください。 読み取りガラスやローラを清掃しても画像にスジが入る場合には、スキャナ本体内部の読み取りガラスにキズが付いている可能性があります。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。(→P.55)
現象	原稿によって画像が異常になる。
原因	原稿の端まで文字や写真などがある原稿をスキャンするときに、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を使用した。(原稿の端を正確に処理できない)
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿の場合は、自動サイズ検知や、斜行補正、黒枠消しなどの機能を無効にしてスキャンしてください。
現象	アプリケーションによって画像が異常になる。
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した。
対処方法	アプリケーションによっては、用紙サイズの自動検知などには対応していないことがあります。このようなアプリケーションで読み取りを行った場合、異常なスキャン結果になることがあります。用紙サイズの自動検知などを行わずにスキャンしてみてください。

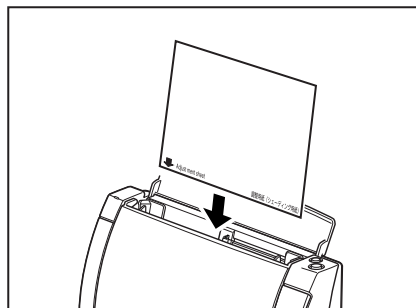
スキャナの調整

上記の対処方法を行ってもスキャン結果の画像に問題がある場合は、以下のスキャナの調整を実行してみてください。

スキャナの調整をするには、同梱されている調整用紙（シェーディング用紙）をスキャナにセットします。調整用紙は、矢印の向きにセットしてください。用紙をセットしたら、[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]（Windows XPの場合は[すべてのプログラム]）-[Canon Document Scanner]-[DR-2050C & 2080C Adjustment Tool]をクリックするか、ISIS/TWAINドライバの「スキャナの調整」機能を使用します。実行するとダイアログボックスが表示されますので、画面の指示に従って操作してください。ISIS/TWAINドライバの「スキャナの調整」機能については、ISIS/TWAINドライバのヘルプファイルを参照してください。



調整用紙



注意

スキャナの調整を実行する前に、必ずスキャナの読み取りガラスを清掃してください（→ P.55）。読み取りガラスにゴミが付いたままでスキャナの調整を実行すると、ゴミの影響で読み取り画像に縦線が入ることがあります。スキャナの調整を実行すると、調整前の調整データは消去され、復元できませんのでご注意ください。

4. ソフトウェアのアンインストール

ISIS/TWAIN ドライバ、ジョブ登録ツール、CapturePerfect が正常に動作しないような時は、次の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、DR-2050C セットアップディスクをから、ソフトウェアを再インストールしてください。(→簡単スタートガイド「Step.3 ソフトウェアのインストール」)



お願い

Windows 2000 Professional、Windows XP を使用している場合は、必ず Administrator 権限でログオンしてください。

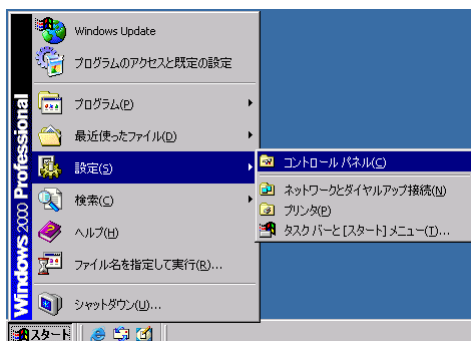


1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定]-[コントロールパネル] をクリックします。



メモ

Windows XP の場合は[スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。



[コントロールパネル] ウィンドウが表示されます。

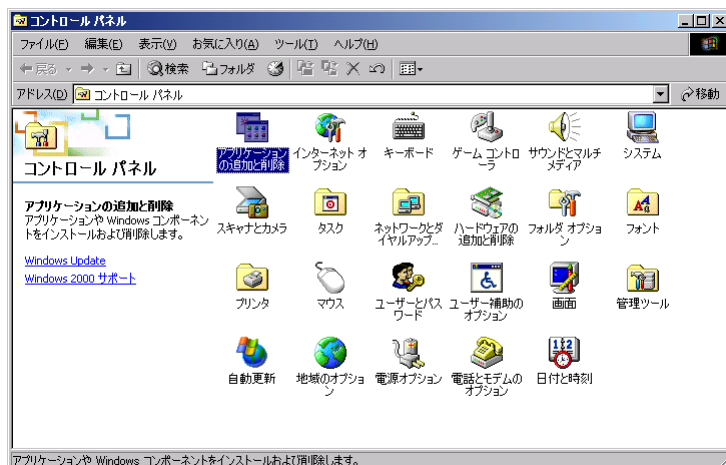


2 [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

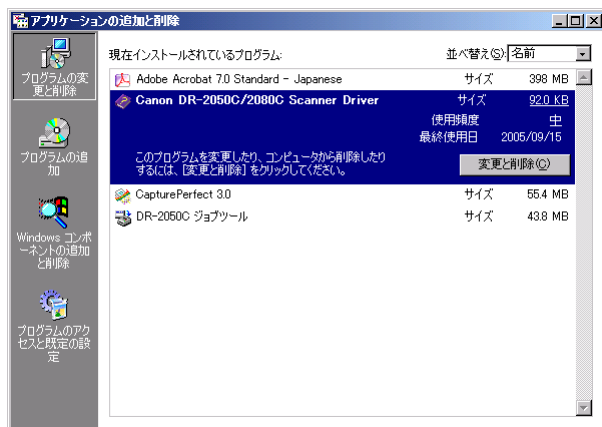


メモ

Windows XP の場合は[プログラムの追加と削除] をクリックします。



[アプリケーションの追加と削除のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



メモ

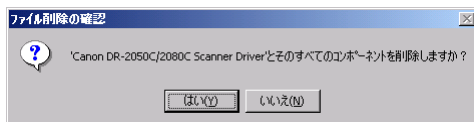
Windows XP の場合は [プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。

ISIS/TWAIN ドライバ / ジョブ登録ツールのアンインストール

- 1 プログラムの一覧から、[Canon DR-2050C/2080C Scanner Driver] (または、[DR-2050C ジョブツール]) を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックします。

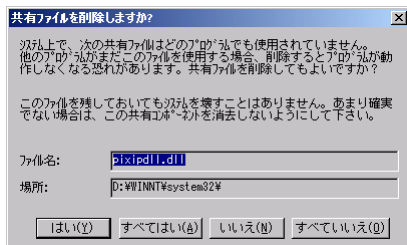


- 2 [ファイル削除の確認] 画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。



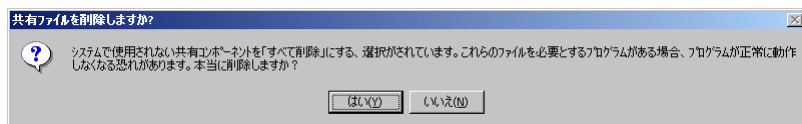
「共有ファイルを削除しますか？」画面が表示されます。

- 3 [すべてはい] ボタンをクリックします。



確認のメッセージが表示されます。

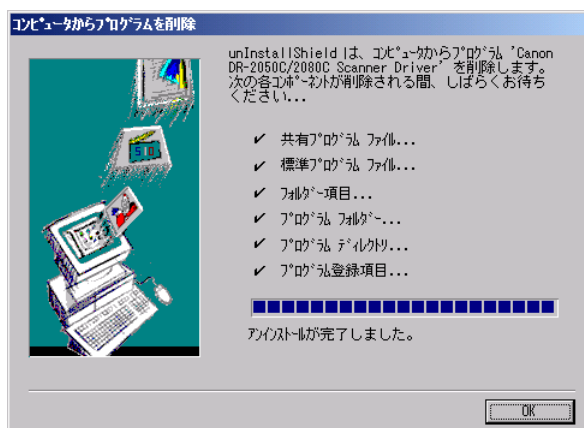
4 [はい]ボタンをクリックし、アンインストールを行ないます。



メモ

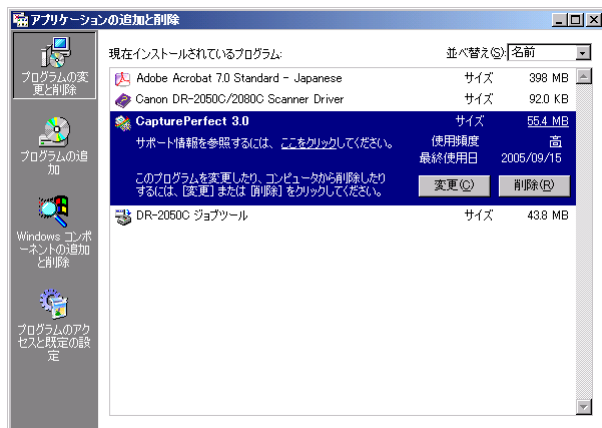
削除した共有ファイルは、ソフトウェアのインストールによりすべて再インストールされます。

5 アンインストールが完了したら[OK]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。

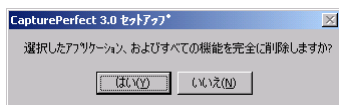


CapturePerfect のアンインストール

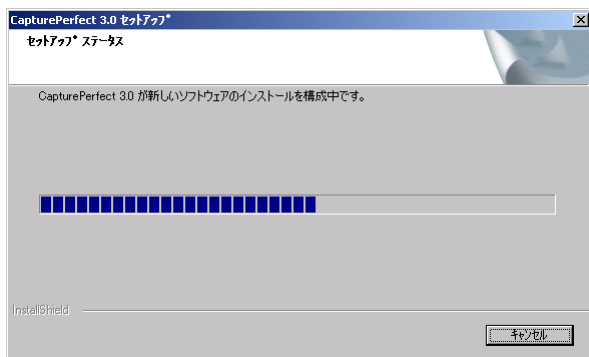
1 プログラムの一覧から、[CapturePerfect 3.0] を選択し、[削除]ボタンをクリックします。



- 2 ▶ ファイル削除の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



アンインストールを行ないます。



- 3 ▶ アンインストールが完了したら[OK]ボタンをクリックし、プログラムの削除を終了させます。



5. 仕様

仕様

本体

形式	卓上型シートスルースキャナ
読み取り原稿サイズ	
幅：	55 - 216mm
長さ： (分離給紙)	70 - 297mm
(非分離給紙)	70 - 355mm
厚さ： (分離給紙)	52 - 128g/m ² (0.06mm - 0.15mm)
(非分離給紙)	42 - 157g/m ² (0.05mm - 0.2mm)
給紙方法	自動
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ
光源	LED
読み取り面	片面 / 両面
読み取りモード	白黒、テキストエンハンスメント、誤差拡散、256 階調グレースケール、24 ビットカラー
読み取り解像度 (主走査×副走査)	100 × 100dpi / 150 × 150dpi / 200 × 200dpi 240 × 240dpi / 300 × 300dpi / 400 × 400dpi 600 × 600dpi
読み取り速度 (条件：CPU Celeron 733MHz, 実装メモリ 256MB、原稿サイズ A4)	
白黒	片面 200 × 200dpi 20 枚 / 分 300 × 300dpi 11 枚 / 分 両面 200 × 200dpi 38 面 / 分 300 × 300dpi 20 面 / 分
グレースケール	片面 200 × 200dpi 20 枚 / 分 300 × 300dpi 11 枚 / 分 両面 200 × 200dpi 38 面 / 分 300 × 300dpi 20 面 / 分
24 ビットカラー	片面 100 × 100dpi 18 枚 / 分 200 × 200dpi 7 枚 / 分 両面 100 × 100dpi 36 面 / 分 200 × 200dpi 12 面 / 分
インタフェース	Hi-Speed USB 2.0
その他の機能	自動原稿厚調整、半折りスキャン
外形寸法	298(幅) × 100(奥行き) × 197(高さ)mm
(給紙トレイが開いている)	298(幅) × 132(奥行き) × 323(高さ)mm

質量	約 2,5kg (AC アダプタを除く)
電源	DC 16V 0.8A (AC アダプタ使用)
消費電力	動作時：最大 13W 待機時：4W
騒音	電源スイッチ OFF 時：0.4W 66dB 以下
使用環境	温度：10℃-32.5℃ 湿度：20%-80%RH

AC アダプタ (100 -240V 型)

型番	MG1-3607
入力	AC 100-240V 50/60Hz 65VA-82VA
出力	DC 16V 1.8A
消費電力	0.5W 以下 (AC アダプタ単体)
質量	約 0.3kg (電源コード含む)

交換部品

交換ローラキット (商品コード：7982A001)

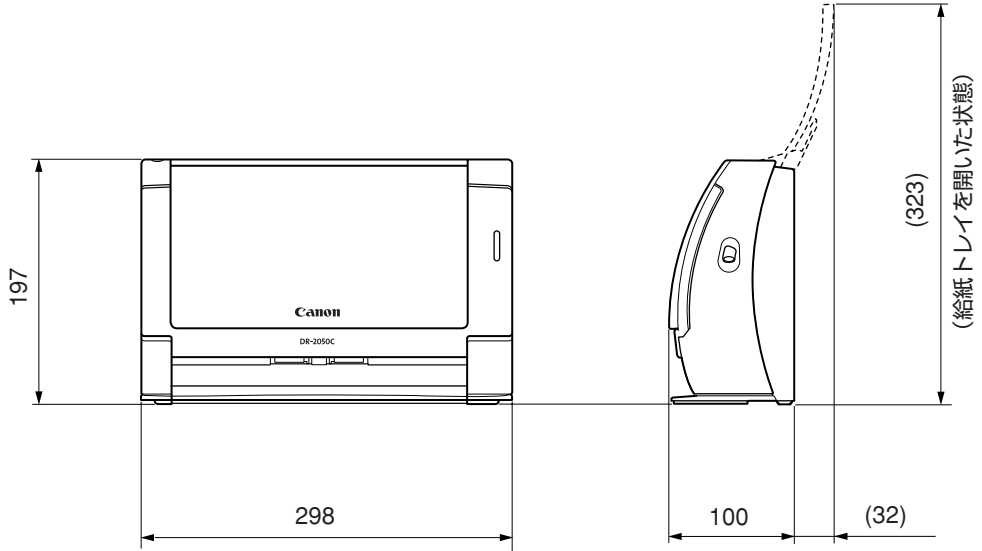
搬送ローラ (フィードローラ、リタードローラ) の交換キットです。

- ローラの交換については、P.58 「ローラの取り外し / 取り付け」を参照してください。
- 交換部品についての詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または次ページに記載されているサービス窓口へご相談ください。

■修理を依頼される前に

67ページの「困ったときは」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理受付窓口

DR-2050Cの修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。

下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM ~ 5:30PM です。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。(但し、東京 QR センター、新宿 QR センターの営業時間は 10:00AM ~ 6:00PM、休業日は日曜・祝祭日です。) また、※印の QR センター、サービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取扱いを致しております。

お願い： DR-2050C のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

(北海道地区)

※ 札幌サービスセンター

TEL 011(728)0665 〒0608522 北海道札幌市北区北7条西1-1-2 SE 山京ビル 1F

(東北地区)

※ 仙台サービスセンター

TEL 022(217)3210 〒9808560 宮城県仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビルディング 1F

(関東・信越地区)

大宮サービスセンター

TEL 048(649)1450 〒3300854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-17 シーノ大宮サウスウイング 6F

(東京・神奈川・山梨地区)

東京 QR センター(持込のみ)

TEL 03(3837)2961 〒1100005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル 1F

新宿 QR センター(持込のみ)

TEL 03(3348)4725 〒1630401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 1F

※ キヤノンテクニカルセンター(郵送・宅配のみ)

TEL 0297(35)5000 〒3060605 茨城県岩井市大字馬立1234 F7 棟 3F

関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送り下さい。

横浜サービスセンター

TEL 045(312)0211 〒2200004 神奈川県横浜市西区北幸2-6-26 HI 横浜ビル 2F

(中部・北陸地区)

※ 名古屋 QR センター

TEL 052(939)1830 〒4618511 愛知県名古屋市東区東桜2-2-1 高岳パークビル 1F

(近畿地区)

※ 大阪 QR センター

TEL 06(6459)2565 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島6-1-21 CFM 中之島ビル 2F

(中国・四国地区)

※ 広島サービスセンター

TEL 082(240)6712 〒7300051 広島県広島市中区大手町3-7-5 広島パークビルディング 1F

※ 高松サービスセンター

TEL 087(823)4681 〒7600027 香川県高松市紺屋町4-10 鹿島紺屋町ビル 1F

(九州地区)

※ 福岡 QR センター

TEL 092(411)4173 〒8120017 福岡県福岡市博多区美野島1-2-1 キヤノン販売福岡ビル 1F

2005年1月1日現在 上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

● お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター

全国共通電話番号



050-555-90072

受付時間： <平日> 9:00～12:00 / 13:00～17:00

(土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませさせていただきます。)

- ※ 本製品にバンドルされているアドビ製品についてのお問い合わせについては、86ページ「アドビ製品について」をご参照ください。
- ※ 上記番号は050から始まるIP電話（株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー（NTT-ME）のXePhion Call Direct）を利用しています。
NTTの固定電話（一般回線）から地域・時間帯にかかわらず同一通話料金（10.4円／3分）でご利用になれます。
- ※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承ください。
- ※ お客さまが050から始まるIP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。IP電話からのご利用は、IP電話事業者間の接続状況によります。NTT-MEのXePhion Call Directの上記番号との通話（接続）可否については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。IP電話からつながらない場合の事象（話中音、アナウンス、ブザー音など）はプロバイダーによって異なります。
また、IP電話の相互通話であっても上記番号との通話料金はプロバイダーによって異なります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。
- ※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

● 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノン販売（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

● キャノンホームページ <http://canon.jp/>

- ※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバのダウンロード、QA検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- ※ 通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

- ※天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。
- ※消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品は原則として保守契約に加入してご使用願うことになっております。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いします。

アドビ製品について

この製品には「Adobe Acrobat」がバンドルされています。「Adobe Acrobat」のインストールおよびサポートについては、以下をご参照ください。

■ インストール

Adobe Acrobat CD を CD-ROM ドライブに挿入し、Adobe Acrobat をインストールして使用します。CD から Acrobat ソフトウェアを直接起動し、実行することはできません。

画面に表示される指示に従ってインストールします。詳細については CD に収納されている **How To Install** ファイルをご覧ください。なお、インストールの際には Adobe Acrobat CD が収納されているソフトケースに記載されているシリアル番号が必要になりますので、シリアル番号の控えを手元に保管、管理していただくようお願い致します。

■ アドビ製品のサポートについて

本製品にバンドルされておりますアドビ製品のサポートについては、以下をご参照ください。

1. サポートの内容について

1-1. インターネット（アドビホームページ）からのサポート情報提供

営業時間	年中無休（メンテナンス期間を除く）
サポート情報提供料金	無償
サポート内容	以下の Web サイトよりサポート、技術情報や FAQ の検索が出来ます http://www.adobe.co.jp/support/main.html

1-2. 電話・電子メールによる技術支援

営業時間	月～金午前 9:30 - 午後 8:00 土曜日午前 9:30 - 午後 5:30 * 年始年末、祝祭日、アドビ指定休業日を除く
サポート料金	有償提供 インシデント、1 案件あたり 5,145 円（消費税込） 年間契約 20,895 円より（消費税込）
サポート内容	以下の Web サイトより詳しいサポート料金、内容をご確認ください http://www.adobe.co.jp/support/main.html

アドビ有償サポート（Adobe Expert Support）契約のお申込みについて

アドビシステムズサポート契約センター

受付時間：月～金 午前 9:30 - 午後 8:00

土曜日 午前 9:30 - 午後 5:30

（年始年末、祝祭日、アドビ指定休業日を除く）

サポート契約のお申込み専用電話番号：フリーダイヤル 0120-535057

サポートプログラムに関するお問合せ専用電話番号：ナビダイヤル 0570-020884

アドビ有償サポートプログラム（Adobe Expert Support）に関する詳細につきましては、アドビシステムズのホームページ（<http://www.adobe.co.jp/support/main.html>）をご参照ください。アドビシステムズサポート契約センターでもお問合せをお受けしています。

2. アドビ製品のユーザ登録について

アドビ製品の情報をいち早く入手するために、ユーザ登録をお勧めします。シリアル番号は、Adobe Acrobat CD が収納されているソフトケースに記載されております。シリアル番号はお客様のライセンスを特定する個別の番号で非常に重要なものです。コピーするなどしてお客様のシリアル番号の控えを手元に保管、管理していただきますようお願いいたします。

ユーザ登録は、アドビのホームページからオンライン登録で行ないます。

<http://www.adobe.co.jp/store/registration/main.html>

（ユーザ登録に関しては、下記「アドビカスタマーサービス」までお問い合わせ下さい。）

3. アドビ製品情報とアップグレードについて

ユーザ登録が完了しますと、随時アドビカスタマーサービスから新製品のご案内が届きます。お求めは、アドビシステムズ公認販売店あるいはアドビストア（<http://store.adobe.co.jp>）にお申込みください。ご購入前の製品情報は、アドビのホームページもしくはカスタマーインフォメーションセンターから入手してください。

カスタマーインフォメーションセンター（製品情報案内）

受付時間：月～金午前 9:30 - 午後 8:00（年始年末、祝祭日、アドビ指定休業日を除く）

電話番号：03-5350-0407

アドビカスタマーサービス（ユーザ登録、アップグレード、アドビストアに関するお問い合わせ）

受付時間：月～金午前 9:30 - 午後 8:00（年始年末、祝祭日、アドビ指定休業日を除く）

電話番号：0570-067337 または 048-226-0040

その他

上記情報は、アドビの都合により変更される場合がありますので、適宜、アドビのホームページによりご確認くださいませようお願い申し上げます。

以上

（本ドキュメントの内容は2004年10月現在のものです）

索引

英字

ACアダプタ	7
CapturePerfect	16, 26, 71
DR-2050C Driver	16
e.Typist エントリー	16
ISIS ドライバ	45
OPEN つまみ	12
TWAIN ドライバ	45
USB コネクタ	13

ア行

アドビ製品について	86
イベント機能	35
上カバー	12
オペレーティングシステム	14

カ行

外形寸法図	81
カウンタ	59
各部の名称	12
紙詰まり	39
簡単スタートガイド	1
給紙インジケータ	12
給紙切替レバー	12, 21, 24, 25
給紙口	12
給紙トレイ	12
給紙補助プレート	12, 20
原稿ガイド	12
原稿ガイドアダプタ	12, 20, 25
原稿について	18
原稿のセット	21
ケンジントン	13
困ったときは	67
こんなときは	41

サ行

修理受付窓口	83
仕様	79
ジョブ機能	32
ジョブ登録ツール	33, 45
推奨インタフェースカード	14
スキャナの移動	7
スキャナの準備	19
給紙補助プレート	20
給紙トレイ	19
原稿ガイドアダプタ	20
スキャン方法	26
スキャンボタン	12
ストップボタン	12

清掃

金属ローラ	57
本体	54
読み取りガラス	55
ローラ	55
設置場所	6
セットアップディスク	16
選んでインストール	16
おまかせインストール	16
マニュアルを読む	16
ソフトウェア	
アンインストール	74
設定項目	45

タ行

通気孔	13
電源コネクタ	13
電源スイッチ	13
電源ランプ	12
動作環境	14
特長	10

ナ行

日常のお手入れ	54
日常の取り扱い	8

ハ行

廃棄	9
排紙口	12
はじめに	1
半折り	25
非分離給紙	24
フィードローラ	56, 61
取り付け	62
取り外し	61
分離給紙	21
保証とアフターサービス	82

マ行

マーク	13
前ユニット	12
マニュアルの構成	1

ヤ行

やさしく名刺ファイリングエントリー	16
-------------------------	----

ラ行

リタードローラ	56, 64
取り付け	65
取り外し	64

Canon

キヤノン販売株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-2 太陽生命品川ビル



CE-IJ-483

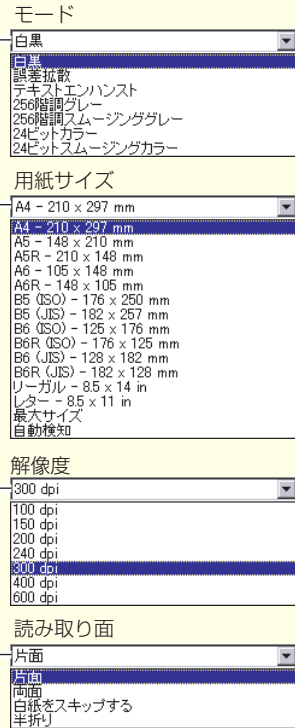
Canon DR-2050C ISIS ドライバ クイックガイド

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス

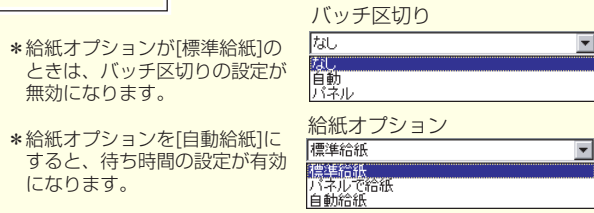


ユーザ設定の登録



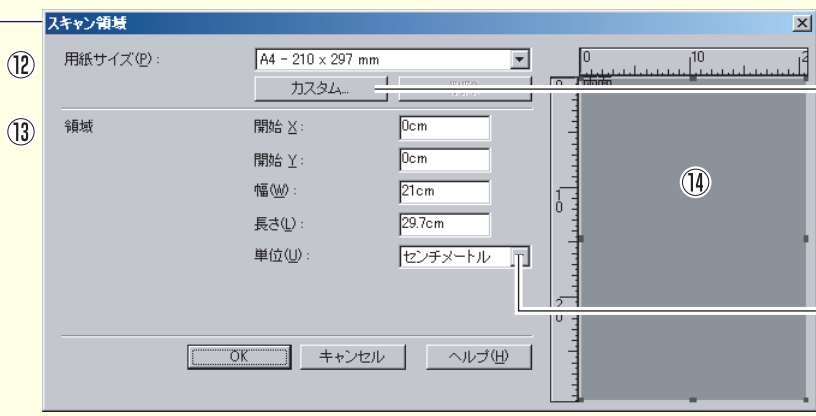
* 白黒の場合、[コントラスト]の設定が自動になり、テキストエンハンスメントの場合は、[明るさ]と[コントラスト]の設定が自動になります。
* 解像度が600dpiのとき、スムージングモードは表示されません。

* 白紙スキップは、[黒い点の割合]の設定で白紙を判断します。

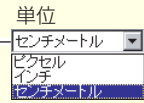


* 給紙オプションが[標準給紙]のときは、バッチ区切りの設定が無効になります。
* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。

スキャン領域ダイアログボックス

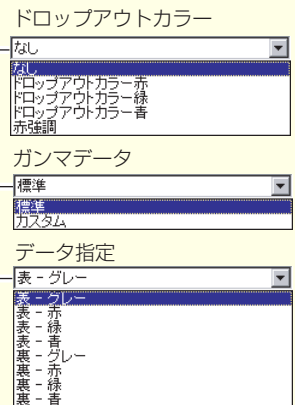
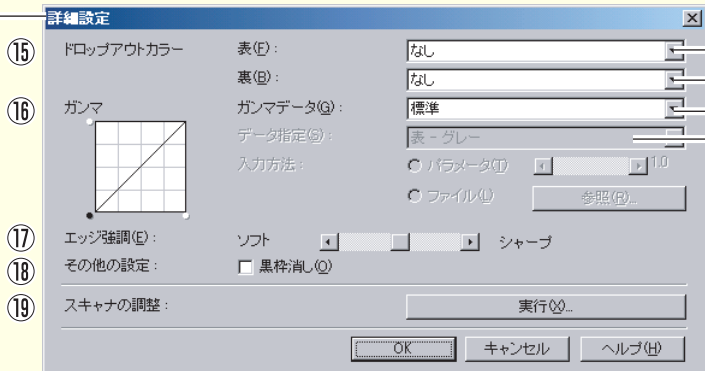


カスタム用紙サイズの登録



* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。
* [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がスライスしてスキャンされます。

詳細設定ダイアログボックス



* ガンマデータを[カスタム]にすると、用紙サイズの[自動検知]、読み取り面の[白紙スキップ]、[斜行補正]の機能が無効になり[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になります。

! 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時には絶対に実行しないでください。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス

- ① ユーザ設定
設定した内容に名称を付けて登録します。
☞ 入力は、半角で 32 文字、全角で 16 文字以下。
- ② モード
スキャンするモードを選択します。
☞ [スミンググレー/カラー] は解像度が 400DPI 以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。
- ④ 解像度
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ 明るさ
明るさを調整します。
モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ コントラスト
コントラストを調整します。
モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、[コントラスト] は自動になります。
- ⑦ 読み取り面
原稿をスキャンする面を選択します。
☞ [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
☞ [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を 1 枚の画像に合成します。詳細については「ユーザーズガイド」を参照してください。
☞ [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
☞ [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0 ~ 20%) を指定します。
- ⑧ 給紙オプション
原稿の給紙方法を選択します。
☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。
☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
☞ [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ バッチ区切り
給紙オプションで [パネルで給紙]、[自動給紙] が選択されているときに有効になり、原稿の束毎にバッチを区切ることができます。
☞ [自動] は、[パネルで給紙]、[自動給紙] でスキャンが開始されるタイミングでバッチ区切りが行なわれません。
☞ [パネル] は、スキャンパネルの [バッチ区切り] ボタンでバッチ区切りを行ないます。

- ⑩ 斜行補正
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
- ⑪ プレスキャン
スキャン開始時に原稿を 1 枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

スキャン領域ダイアログボックス

- ⑫ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ 領域
スキャンする領域を選択します。
☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ 領域ウィンドウ
用紙サイズの設定に合わせて表示が変化します。
☞ マウスでドラッグして読み取り領域を指定することもできます。

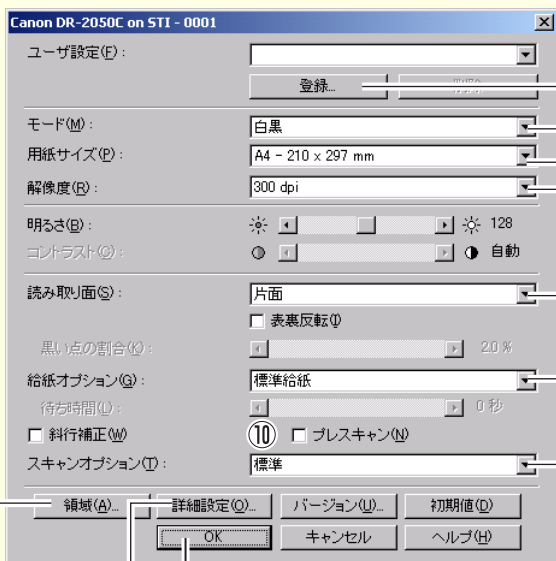
詳細設定ダイアログボックス

- ⑮ ドロップアウトカラー
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ ガンマ
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。詳細な設定については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。
- ⑰ エッジ強調
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ 黒枠消し
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ スキャナの調整
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、ユーザーズガイドの P.73 「スキャナの調整」を参照してください。

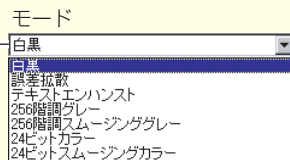
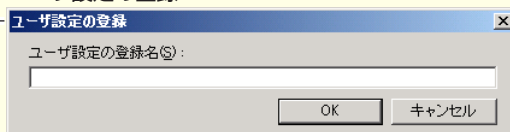
本クイックガイドでは、CaptuerPerfect で表示されるダイアログボックスについて説明しています。アプリケーションによっては基本設定ダイアログボックスが表示されない場合があります。このようなときは、基本設定ダイアログボックスの機能の一部が盛り込まれた詳細設定ダイアログボックスが表示されます。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

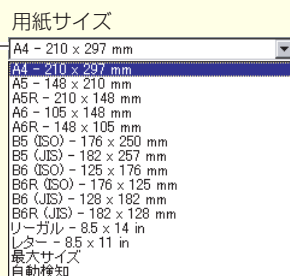
基本設定ダイアログボックス



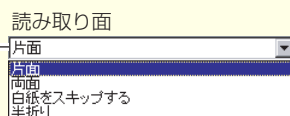
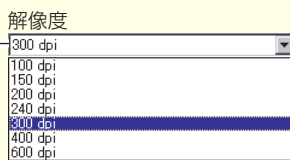
ユーザ設定の登録



* 白黒の場合、[コントラスト]の設定が自動になり、テキストエンハンスメントの場合は、[明るさ]と[コントラスト]の設定が自動になります。



* 解像度が600dpiのとき、スムージングモードは表示されません。



* 白紙スキップは、[黒い点の割合]の設定で白紙を判断します。



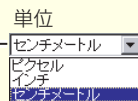
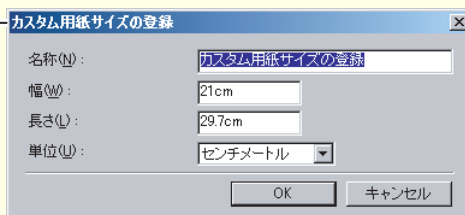
* 給紙オプションを[自動給紙]にすると、待ち時間の設定が有効になります。

基本設定ダイアログボックスから直接スキャンを実行するアプリケーションの場合、[OK] ボタンの代わりに [スキャン] ボタンが表示され、さらにスキャン領域ダイアログボックスに領域ウィンドウが表示されます。

スキャン領域ダイアログボックス

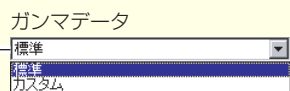
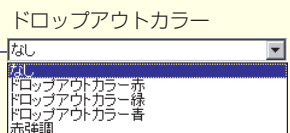
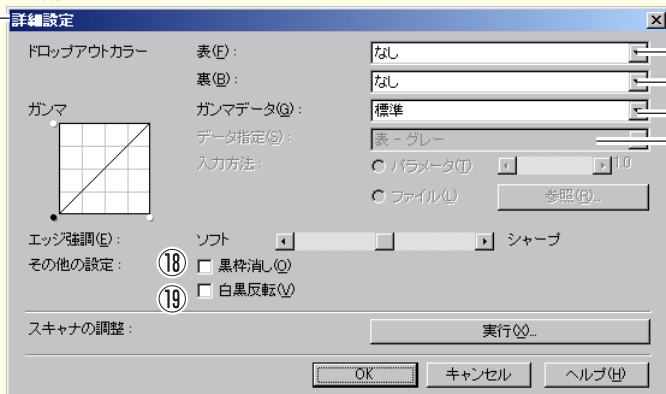


カスタム用紙サイズの登録

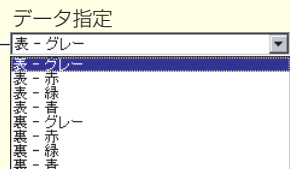


* 用紙サイズが[自動検知]になっていると、領域の設定ができません。
 * [斜行補正]がオンになっていると、指定した領域がズレてスキャンされます。

詳細設定ダイアログボックス



* ガンマデータを[カスタム]にすると、用紙サイズの[自動検知]、読み取り面の[白紙スキップ]、[斜行補正]の機能が無効になり[明るさ]、[コントラスト]の設定が自動になります。



⚠ 「スキャナの調整」は、スキャンした画像に異常がある場合にスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャンした画像に異常がない時は絶対に実行しないでください。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

基本設定ダイアログボックス

- ① ユーザ設定
設定した内容に名称を付けて登録します。
- ② モード
スキャンするモードを選択します。
☞ [スムージンググレー/カラー] は解像度が400DPI以下のときに表示され、画像を平均化してモアレの発生を抑えます。
- ③ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☞ [自動検知] を選択すると、原稿のサイズを検知してスキャンを行ないます。
- ④ 解像度
スキャンする解像度を選択します。
- ⑤ 明るさ
明るさを調整します。
モードの設定で [テキストエンハンスメント] を選択している場合、明るさは自動になります。
- ⑥ コントラスト
コントラストを調整します。
モードの設定で [白黒]、[テキストエンハンスメント] を選択している場合、[コントラスト] は自動になります。
- ⑦ 読み取り面
原稿をスキャンする面を選択します。
☞ [白紙をスキップする] を選択すると、[黒い点の割合] によって白紙と判断された画像をスキップします。
☞ [半折り] は、原稿の両面をスキャンし、表裏の画像を1枚の画像に合成します。詳細については「ユーザーズガイド」を参照してください。
☞ [表裏反転] をチェックすると、原稿の表裏が逆になります。
☞ [黒い点の割合] は、白紙をスキップするときの黒い部分の割合 (0 ~ 20%) を指定します。
- ⑧ 給紙オプション
原稿の給紙方法を選択します。
☞ [標準給紙] は、原稿をセットした後のスキャン操作をすべてアプリケーションで行ないます。
☞ [パネルで給紙] は、原稿をセットした後、スキャナ本体のスキャンボタンでスキャンを開始します。
☞ [自動給紙] は、スキャナが原稿のセットを感知するとスキャンが開始されます。
- ⑨ 斜行補正
原稿が斜めに給紙されたとき、スキャンした画像をまっすぐに補正します。
- ⑩ プレスキャン
スキャン開始時に原稿を1枚スキャンし、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。
- ⑪ スキャンオプション
スキャン時の動作を指定します。
☞ [標準] は、読み取った原稿を排紙してから次の原稿をスキャンします。

- ☞ [先き読みスキャン] は、原稿を連続してスキャンします。
- ☞ [1 ページスキャン] は、読み取り面の設定が [片面] に固定され、原稿を1枚だけスキャンします。

スキャン領域ダイアログボックス

- ⑫ 用紙サイズ
スキャンする原稿のサイズを選択します。
☞ [カスタム] ボタンを押すと、非定型サイズの原稿をカスタム用紙サイズとして登録することができます。
- ⑬ 領域
スキャンする領域を選択します。
☞ 用紙サイズが [自動検知] の場合は無効になります。
- ⑭ プレビュー
[プレスキャン] が有効になっているときにこのボタンを押すと原稿を1枚スキャンして、プレスキャンウィンドウに画像を表示します。

詳細設定ダイアログボックス

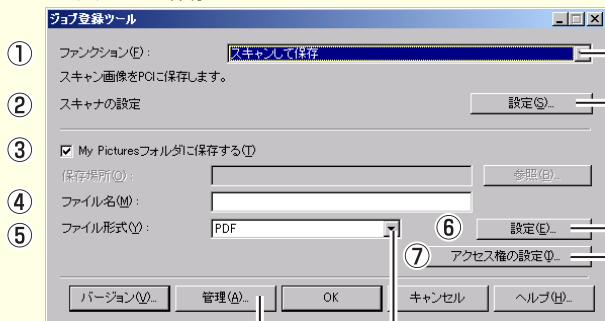
- ⑮ ドロップアウトカラー
読み取りのモードが [24ビットカラー] 以外のときに有効で、赤 / 緑 / 青色の読み飛ばし (ドロップアウト) または、赤色の強調を表裏別に設定します。
- ⑯ ガンマ
標準のガンマカーブを変更するときに、ガンマデータを [カスタム] にしてガンマカーブを変更します。詳細な設定については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。
- ⑰ エッジ強調
画像の輪郭を強調します。
- ⑱ 黒枠消し
スキャンした画像の周りにできる黒い部分を消去します。
- ⑲ 白黒反転
モードの設定が [白黒]、[誤差拡散]、[テキストエンハンスメント] のときに原稿を白黒反転させてスキャンします。
- ⑳ スキャナの調整
スキャナの調整は、スキャンした画像に異常があり、通常のメンテナンスでは画像が改善されないときにスキャナの基準値を調整するための機能です。スキャナの調整については、ユーザーズガイドの P.73 「スキャナの調整」を参照してください。

本クイックガイドでは、TWAINドライバの設定項目について説明しています。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。

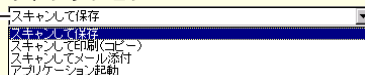
本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

ジョブ登録ツールダイアログボックス

スキャンして保存



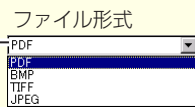
ファンクション



* ファンクションの設定に合わせてダイアログボックスが変更します。

TWAIN設定ダイアログボックスを開きます。
(TWAIN設定ガイド参照)

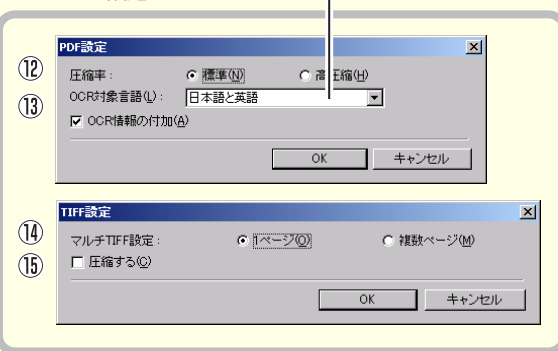
* [PDF]、[TIFF]を選択したときに[設定]ボタンが有効になります。



OCR言語設定



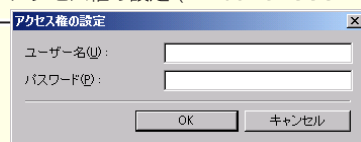
PDF/TIFF設定



スキャンして印刷 (コピー)



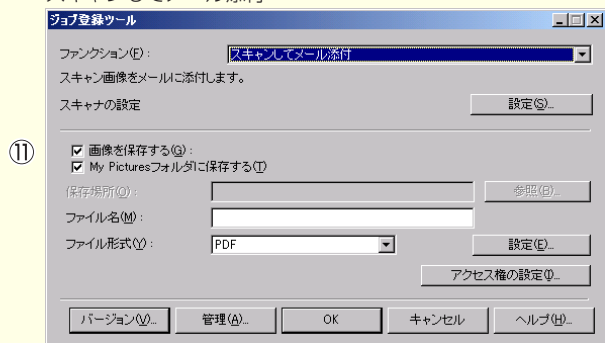
アクセス権の設定 (Windows2000/XP)



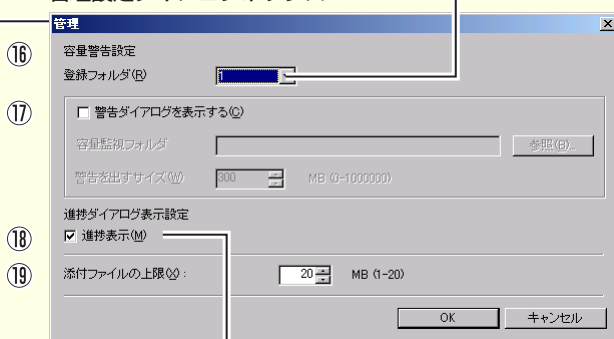
登録フォルダ



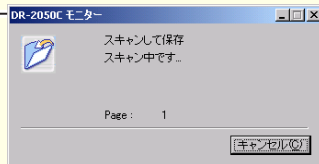
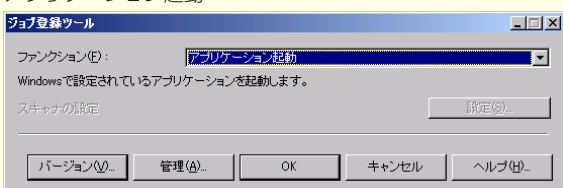
スキャンしてメール添付



管理設定ダイアログボックス



アプリケーション起動



* スキャンボタンを押したときに「DR-2050Cモニター」を表示します。

本クイックガイドは、スキャナの近くに置いてお使いください。

ジョブ登録ツールダイアログボックス

① ファンクション

スキャンボタンに割り当てる機能を選択します。

☞ ジョブ登録ツールダイアログボックスは、[ファンクション]の選択によってダイアログボックスが変更します。

☞ [アプリケーション起動]を使用するときは、コントロールパネルの「スキャナとカメラ」を開き、スキャナのイベントの設定を行ないます。

② スキャナの設定

TWAIN ドライバ設定ダイアログボックスを開きスキャン条件を設定します。

③ My Pictuers フォルダに保存する

スキャンした画像ファイルをマイドキュメントの中にある My Pictuers フォルダに保存します。

☞ このチェックボックスをオフにすると保存場所を指定できます。

④ ファイル名

ファイル名を指定します。

☞ 保存されるファイル名は、指定したファイル名にタイムスタンプが付加されて保存されます。

⑤ ファイル形式

保存するファイル形式を選択します。

☞ PDF/TIFF を選択した場合、[設定] ボタンが有効になります。

⑥ [設定] ボタン

PDF/TIFF 設定ダイアログボックスを開きます。

⑦ [アクセス権の設定] ボタン

Windows2000/XP で使用している場合に表示され、アクセス権の設定ダイアログボックスを開きます。

☞ ネットワーク上の共有フォルダにアクセス権が無い場合に、アクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。

⑧ [管理] ボタン

管理ダイアログボックスを開きます。

⑨ プリント

「通常使うプリンタ」に設定されているプリンタが表示されます。

☞ [プリンタの設定] ボタンでプリンタの設定を変更します。

⑩ プリント形式

印刷するサイズを指定します。

☞ [実寸にあわせる] は、原稿と同じサイズで印刷します。

☞ [用紙にあわせる] は、スキャンした画像が印刷する用紙より大きい場合に、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷します。

⑪ 画像を保存する

「スキャンしてメール添付」で、スキャンした画像を保存する場合にチェックします。

PDF/TIFF 設定

⑫ 圧縮率

圧縮率（標準、高圧縮）を選択します。

☞ 高圧縮を選択した場合、ファイルサイズが小さくなりますが、画質が若干低下します。

☞ この設定は、グレースケール、カラー画像に対して有効です。

⑬ OCR 情報の付加 / OCR 対象言語

原稿内の活字に対して文字認識を行ない、PDF ファイルにテキストデータを付加します。

☞ [OCR 情報を付加] をオンにして保存された PDF ファイルには、活字の部分に認識したテキストデータが保存されています。

☞ OCR を有効にした場合、TWAIN ドライバの設定にかかわらず、斜行補正が有効になります。

⑭ マルチ TIFF 設定

複数ページある画像の保存方法について設定します。

☞ [1 ページ] は、1 ページ / 1 ファイルで、画像の枚数だけの TIFF ファイルが作られます。

☞ [複数ページ] は、全ページの画像を 1 ファイルに保存します。

⑮ 圧縮する

画像ファイルを圧縮して保存します。

☞ 白黒画像の場合、「CCITT グループ4」、グレースケール、カラー画像の場合は、「JPEG」で圧縮されます。

管理ダイアログボックス

⑯ 容量警告設定

画像ファイルを保存するフォルダを指定し、そのフォルダに保存できる容量をあらかじめ設定しておきます。

☞ 設定したフォルダを指定してスキャンを開始し、スキャン中に設定した容量を越えた場合に警告メッセージを表示します。

⑰ 登録フォルダ / 警告ダイアログを表示する

登録フォルダの番号を選択し、「警告ダイアログボックスを表示する」をチェックすると [容量監視フォルダ] と [警告を出すサイズ] が有効になります。

☞ 隠しファイルなど通常表示されないファイルは容量警告では計算されません。

☞ 容量警告が表示された時はメッセージに従ってスキャンを行なってください。

⑱ 進捗表示

スキャンボタンを押した時に、「DR-2050C モニター」を表示させて、進捗状況を表示します。

⑲ 添付ファイルの上限

電子メールに添付する画像ファイルのサイズを制限します。

本クイックガイドでは、ジョブ登録ツールの設定項目について説明しています。詳細については、「ヘルプ」ボタンを押してヘルプを参照してください。